

大分の畜産

2019



ラッピングバス

2019年9月～2020年2月
大分市内をラッピングバスが走り
おおいた和牛をPRしました

令和元年度

大分県

目次

I 農業及び畜産の概要	
1. 農業の概要	1
2. 畜産の概要	3
II 家畜別の動き	
1. 肉用牛	4
2. 乳用牛	8
3. 豚	12
4. 採卵鶏	14
5. ブロイラー	16
6. 地鶏	18
7. 生産費と所得の推移	19
III 飼料	
1. 飼料作物作付状況	21
2. 配合混合飼料	22
3. 放牧取組状況	23
IV 家畜衛生・畜産環境	
1. 監視伝染病の発生状況	24
2. 環境汚染問題畜種別発生件数	25
資料1 畜産関係団体等一覧	26
資料2 畜産関係機関県組織機構	27
資料3 令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1～12月)	28

I 農業及び畜産の概要

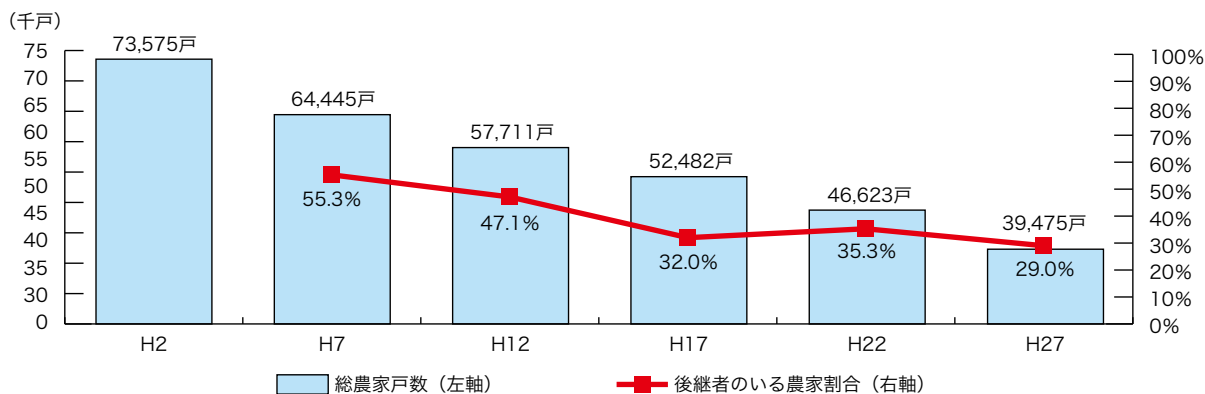
1. 農業の概要

(1) 本県農業の位置づけ

項目	単位	区 分					資料
		大分県	九州	全国	大分/九州(%)	大分/全国(%)	
総農家戸数	戸	39,475	308,799	2,155,082	12.8	1.8	農林水産省「農林業センサス(平成27年)」
販売農家戸数	戸	24,300	199,273	1,329,591	12.2	1.8	
(構成比)	(%)	61.6	64.5	61.7	95.4	99.8	
農業就業人口	人	35,208	327,624	2,096,662	10.7	1.7	農林水産省「生産農業所得統計(平成30年)」
農業産出額	億円	1,259	17,856	91,283	7.1	1.4	
生産農業所得	億円	503	6,546	34,562	7.7	1.5	農林水産省「耕地及び作付面積統計(令和元年)」
生産農業所得÷農業産出額	(%)	40.0	36.7	37.9	109.0	105.5	
農業産出額÷総農家戸数	千円	3,189	5,782	4,236			
農業産出額÷販売農家戸数	千円	5,181	8,961	6,865			
耕地面積	ha	55,100	525,300	4,397,000	10.5	1.3	農林水産省「耕地及び作付面積統計(令和元年)」
田面積	ha	39,300	307,300	2,393,000	12.8	1.6	
(構成比)	(%)	71.3	58.5	54.4	121.9	131.1	
畑面積	ha	15,800	218,100	2,004,000	7.2	0.8	
(構成比)	(%)	28.7	41.5	45.6	69.2	62.9	
うち牧草地	ha	2,710	14,300	596,800	19.0	0.5	
(構成比)	(%)	4.9	2.7	13.6	181.5	36.0	

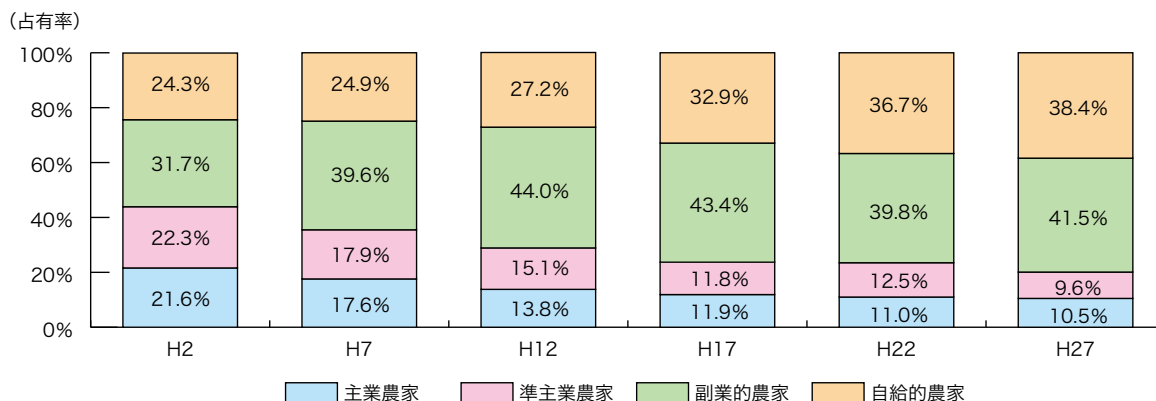
(注) 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家。
 農業就業人口：販売農家で、農家に常住し、しかも生活の本拠をそこに持つ世帯員のうち、調査期日前1年間に、「農業のみに従事した世帯員」及び「農業と兼業の双方に従事したが、農業の従事日数の方が多い世帯員」。
 生産農業所得：農業産出額から生産のために投入された物的経費を控除して推計したものの。

(2) 農家戸数の推移（大分県）



資料：農林水産省「農林業センサス」

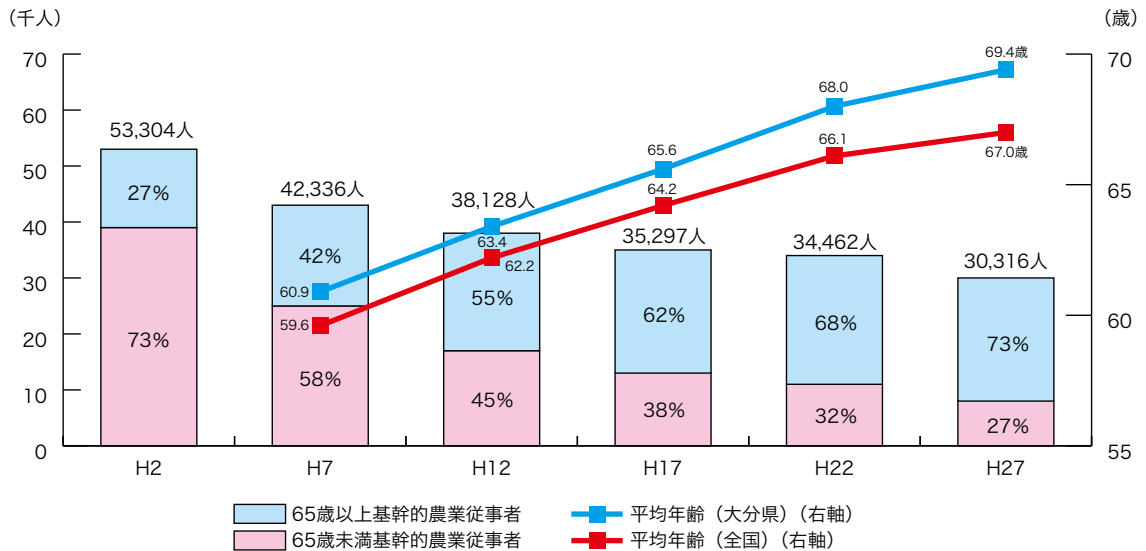
(3) 主業副業農家占有率の推移（大分県）



資料：農林水産省「農林業センサス」

(注) 主業農家：販売農家のうち農業取得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。
 準主業農家：販売農家のうち農外取得が主で65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家。
 副業的農家：販売農家のうち65歳未満の農業従事60日以上の方がいない農家。（主業農家・準主業農家以外の農家）
 自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。

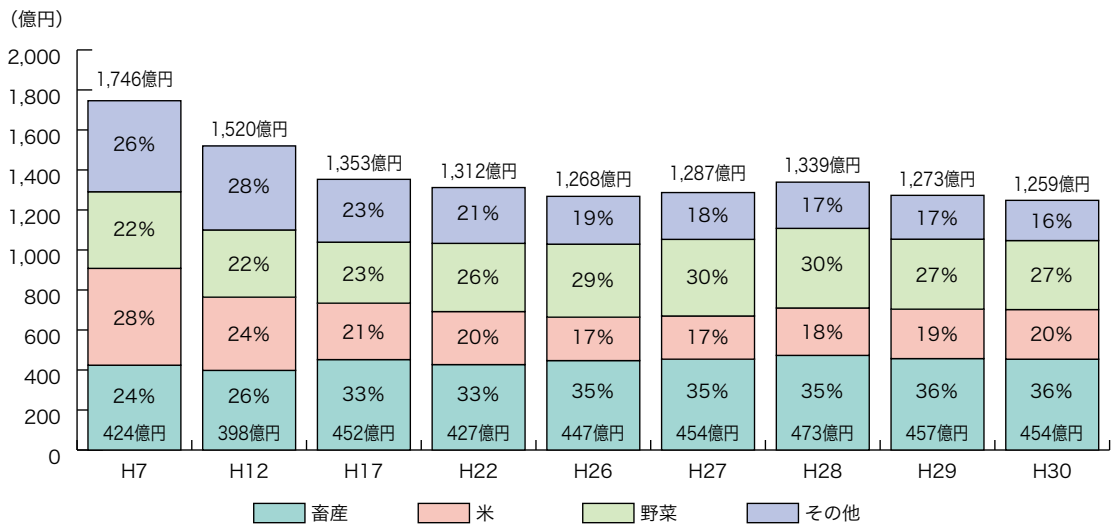
(4) 農業労働力の推移（大分県）



資料：農林水産省「農林業センサス」

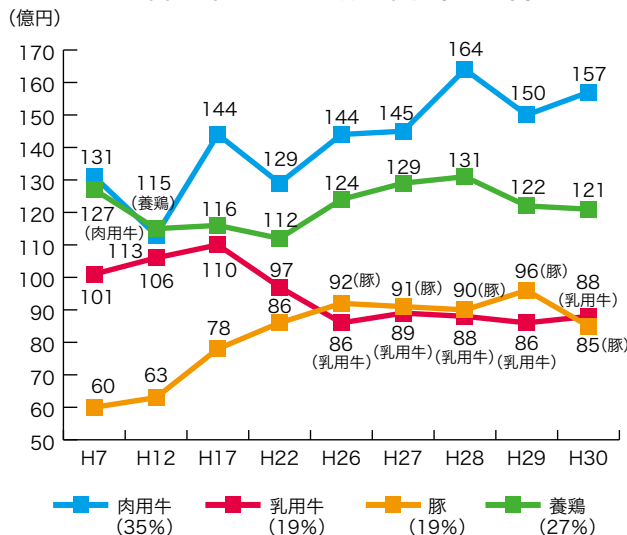
(注) 基幹的農業従事者：農業に主として従事した世帯員（農業就業人口）のうち、調査日前1年間の普段の主な状態が「仕事に従事していた者」のこと。

(5) 農業産出額（大分県）

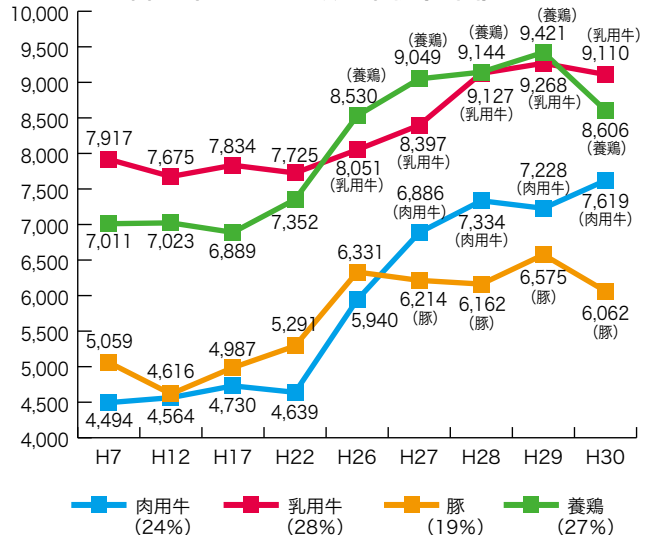


資料：農林水産省「生産農業所得統計」

畜産部門別産出額の推移（大分県）



畜産部門別産出額の推移（全国）



(注) () はH30年の構成比

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

2. 畜産の概要

(1) 家畜の飼養戸数・頭羽数（平成31年2月1日）

		大分県		九州			全国		
		実数	対前年比(%)	実数	対前年比(%)	順位	実数	対前年比(%)	順位
肉用牛	戸数	1,190	98.3	20,400	96.2	5	46,300	95.9	11
	頭数	46,900	95.9	913,600	101.4	6	2,503,000	99.6	16
	頭/戸	39.4	97.5	44.8	105.4	6	54.1	103.9	36
乳用牛	戸数	123	97.6	1,470	96.7	6	15,000	95.5	26
	頭数	12,000	95.2	105,300	98.9	5	1,332,000	100.3	17
	頭/戸	97.6	97.6	71.6	102.2	1	88.8	105.0	4
豚	戸数	47	100.0	1,370	96.5	5	4,320	96.6	25
	頭数	132,300	96.1	2,879,000	100.4	5	9,156,000	99.6	19
	頭/戸	2,814.9	96.1	2,101.5	104.1	1	2,119.4	103.5	11
採卵鶏	戸数	22	95.7	432	97.5	7	2,190	99.5	32
	千羽	1,268	98.6	25,251	106.6	6	184,917	101.6	30
	千羽/戸	57.6	103.1	58.5	109.3	3	84.4	102.1	26
ブロイラー	戸数	54	103.8	1,120	100.9	5	2,250	99.6	9
	千羽	2,471	98.8	70,121	102.0	6	138,228	99.6	12
	千羽/戸	45.8	95.1	62.6	101.1	6	61.4	100.0	21

（資料：農林水産省「畜産統計」）

(2) 農業経営改善計画の営農類型別認定状況（平成31年3月末時点）

		農業経営改善計画認定数					
		単一経営	畜産小計				
			酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他の畜産
全国	239,028	23,719	10,172	8,432	2,156	2,025	934
九州	46,685	6,758	1,030	4,181	650	810	87
大分	4,218	428	99	255	26	35	13

（注）「単一経営」とは、経営体毎の農産物販売金額1位の部門（作目）の販売金額が、農産物総販売金額の80%以上を占める経営をいう

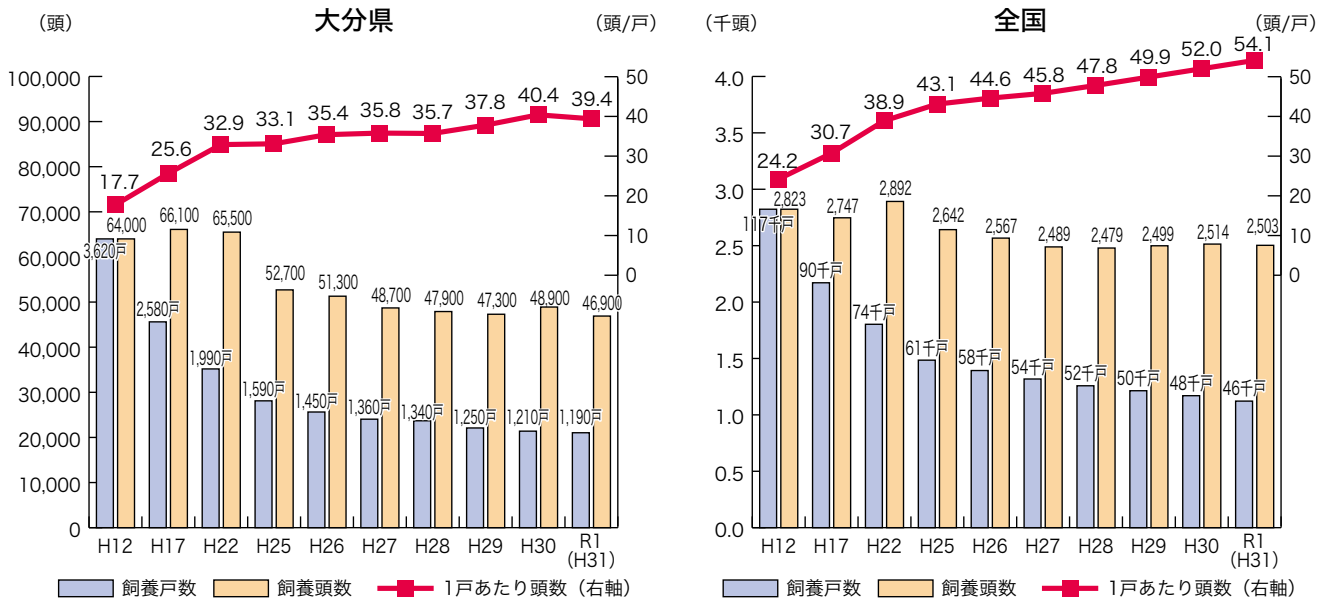
（資料：農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」）

全国、九州で農業経営改善計画認定数は減少しているが、県内は、H30年の4,212からH31年の4,218へと6増加した。また、畜産単一経営においては、H30年395からH31年に428へと33増えた。畜種別では、前年から酪農（+6）、肉用牛（+28）が増加し、養豚（-5）、養鶏（-7）が減少した。

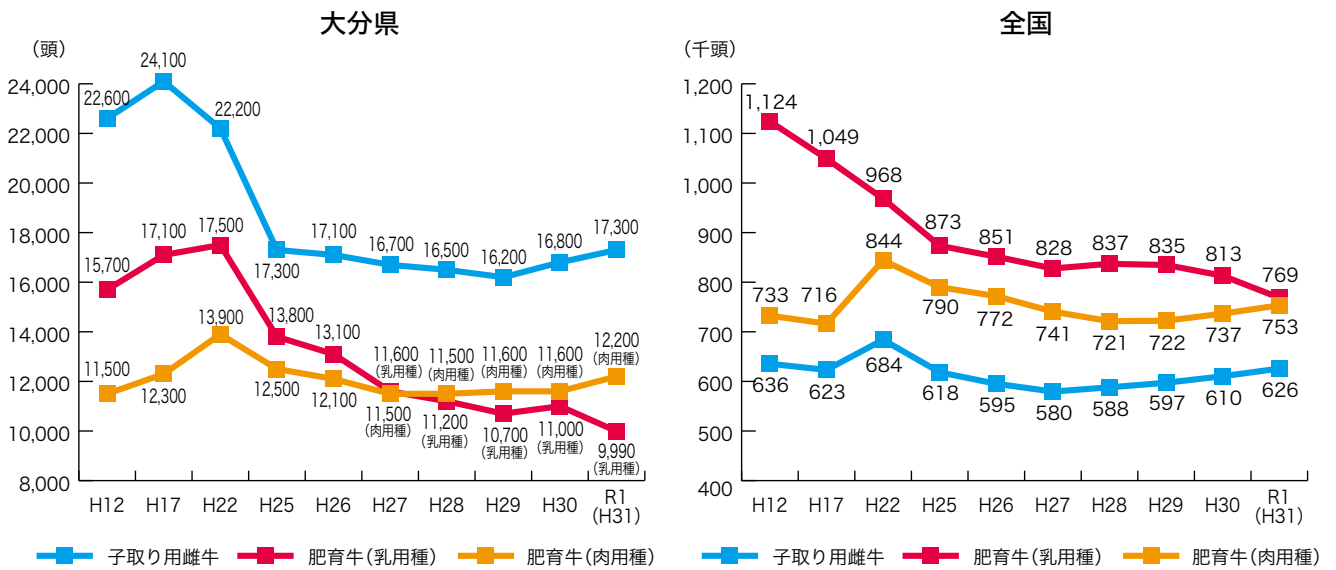
II 家畜別の動き

1. 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数の推移

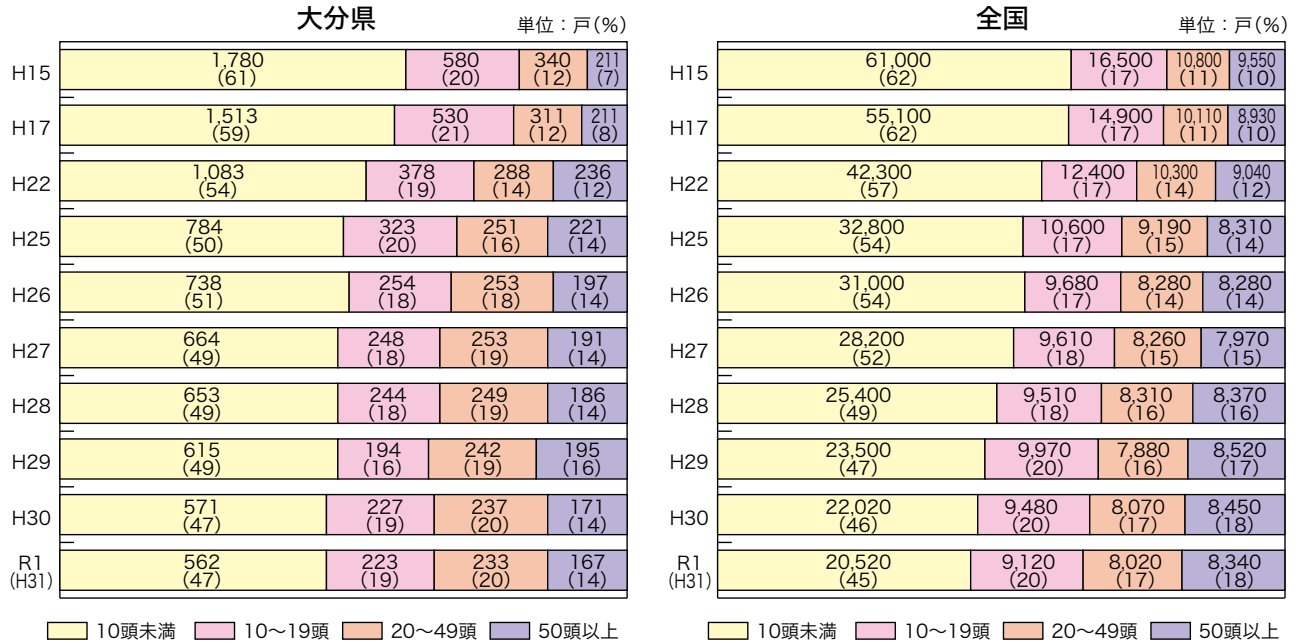


(2) 用途別頭数の推移



(注1) 子取り用雌牛：子牛の生産を目的として飼養している雌牛（過去に種付けしたことのある牛及び近い将来種付けをすることが確定している牛。）
 (注2) 肥育牛：肉牛販売を目的に飼養している牛。したがって、保育・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育牛とする。

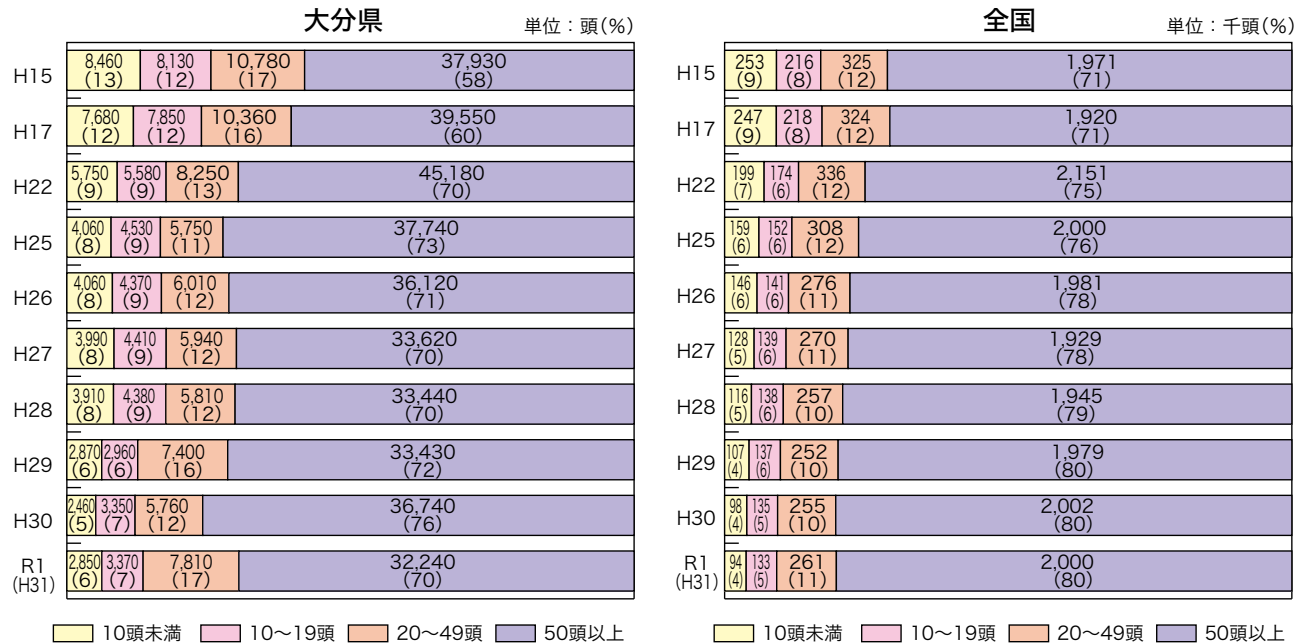
(3) 規模別飼養戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

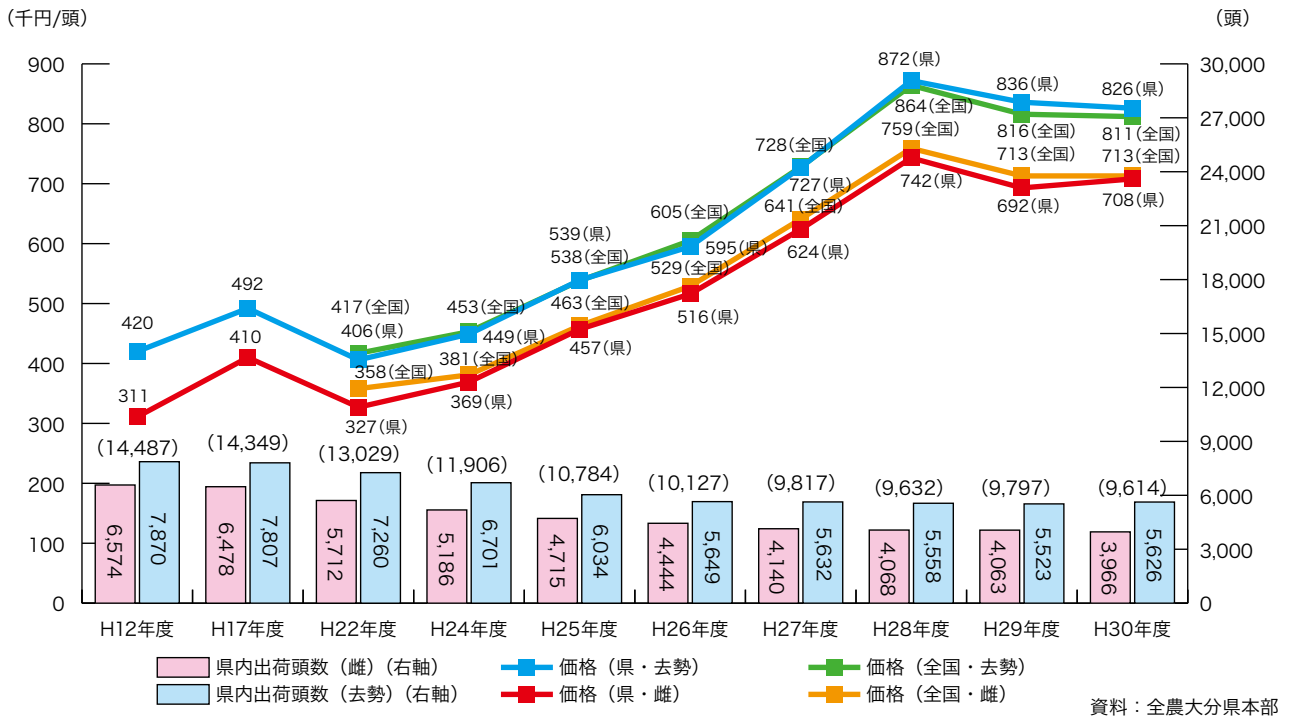
(4) 規模別飼養頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

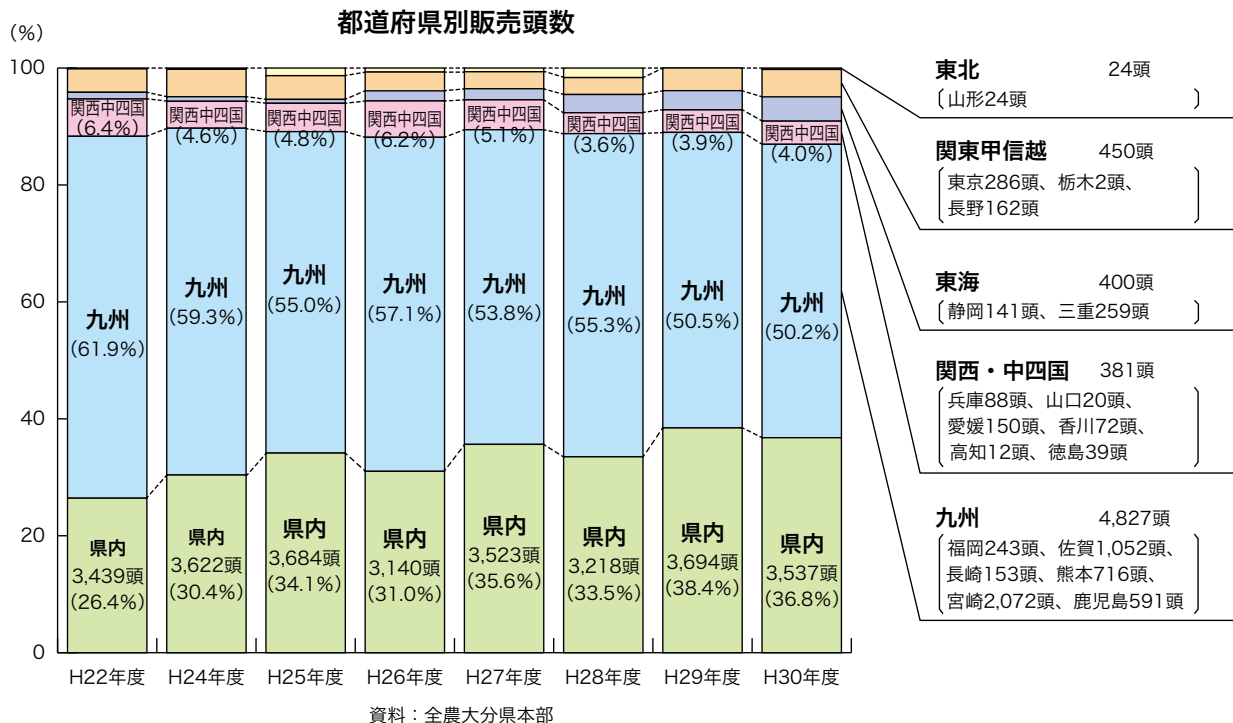
(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 子牛市場出荷頭数・平均価格の推移



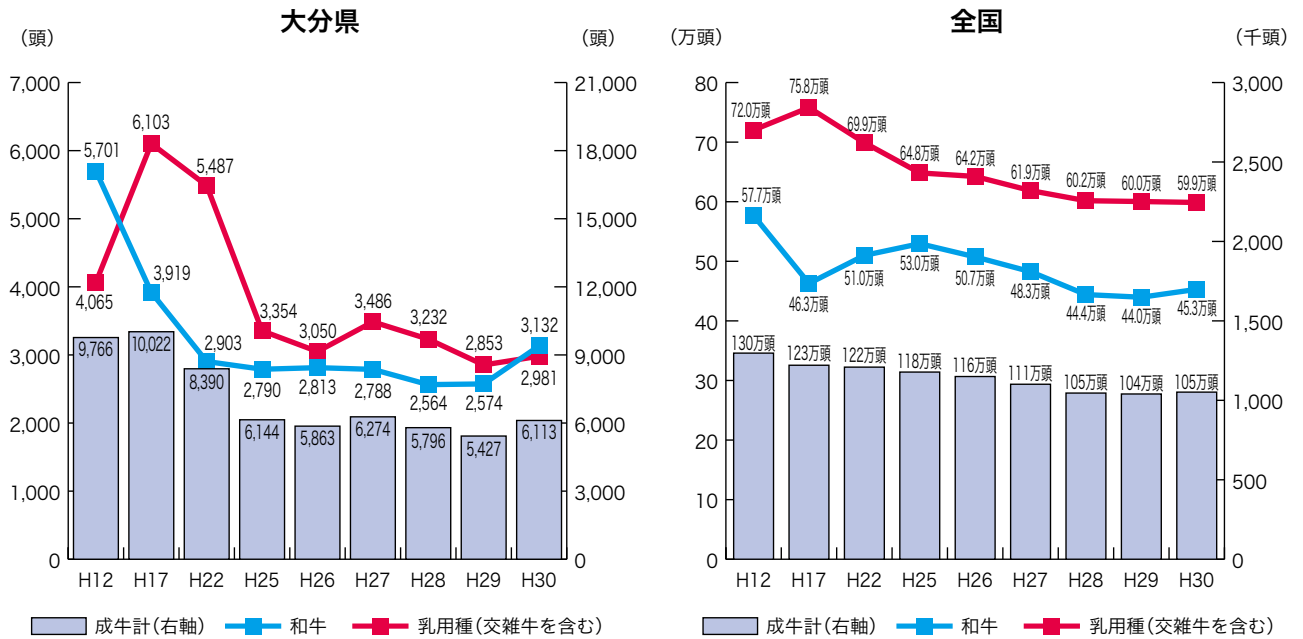
(注1) グラフ内「去勢」頭数には「雄」頭数を含まず、()内出荷合計頭数には「雄」頭数を含まため、合計頭数は一致しない
 (注2) 「大分の畜産2011」以前は「入場頭数」を、「大分の畜産2012」以降は「成立頭数」を「出荷頭数」として計上
 (注3) 再上場による頭数等は含まないため、(6)に示す出荷頭数とは必ずしも一致しない。

(6) 肉用子牛(黒毛和種)の流通



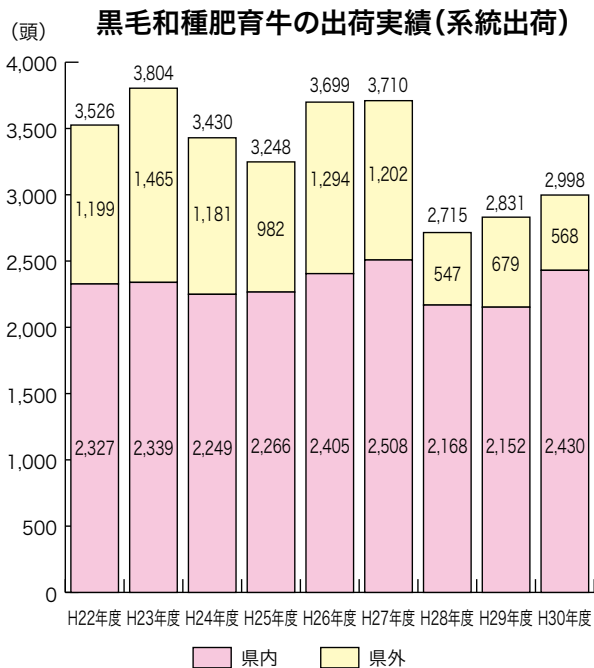
(注) 再上場による頭数等を含むため、(5)に示す出荷頭数とは必ずしも一致しない
 都道府県別販売頭数は、出荷先業者の営業所を含めている場合もある

(7) 肉用牛県内と畜頭数の推移



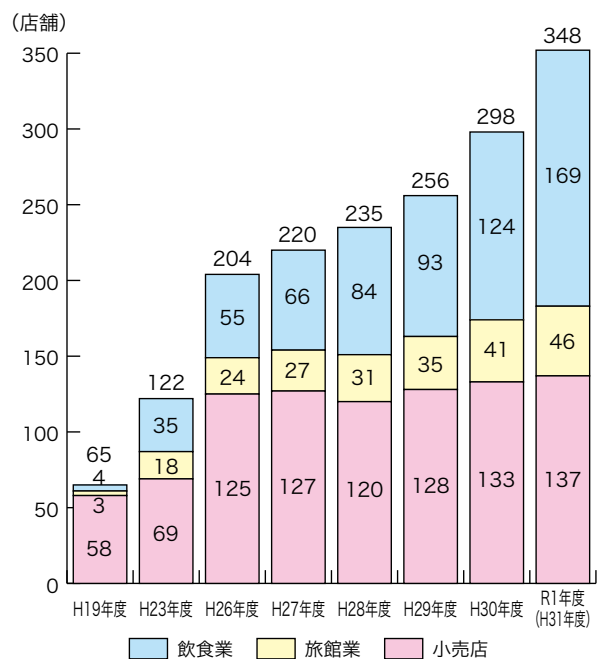
資料：農林水産省「畜産物流通統計」

(8) 県産肉用牛（黒毛和種肥育牛）の流通



資料：全農大分県本部

(9) おおいた豊後牛取扱認定店舗数推移

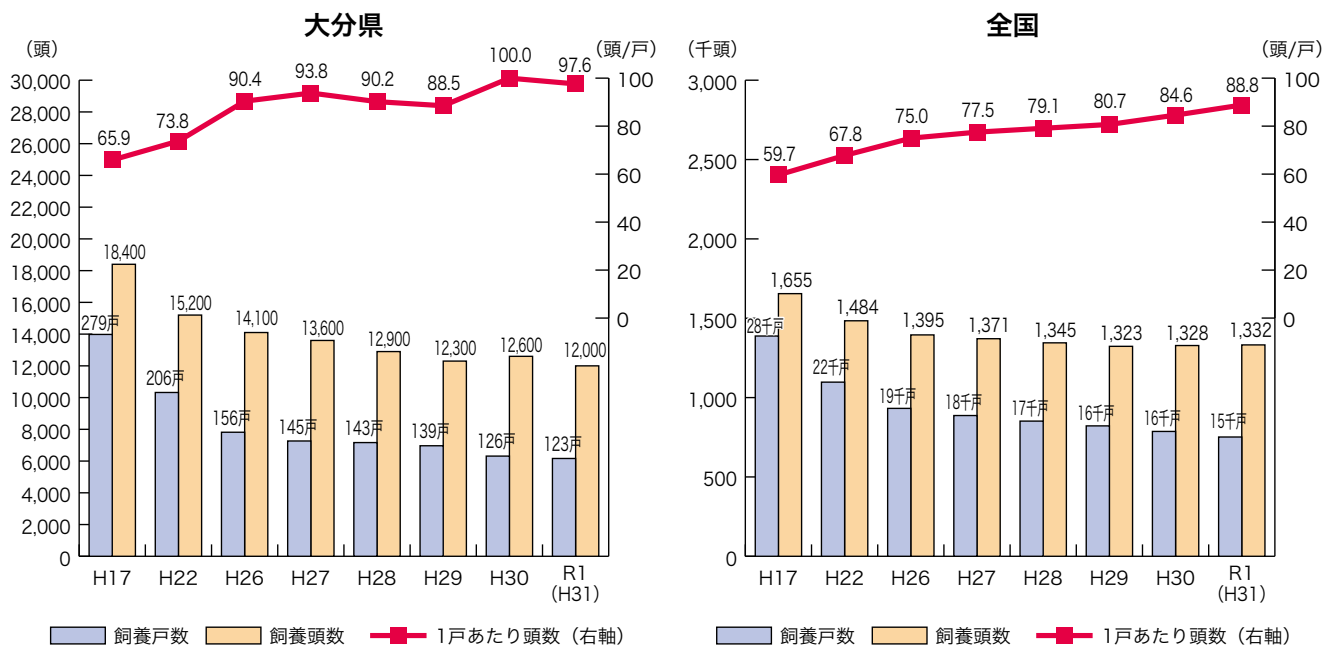


資料：大分県豊後牛流通促進対策協議会

(注) H28年度より常時取扱店のみを認定店としてカウント。併せて、過去の数字についても常時取扱店のみで修正した。

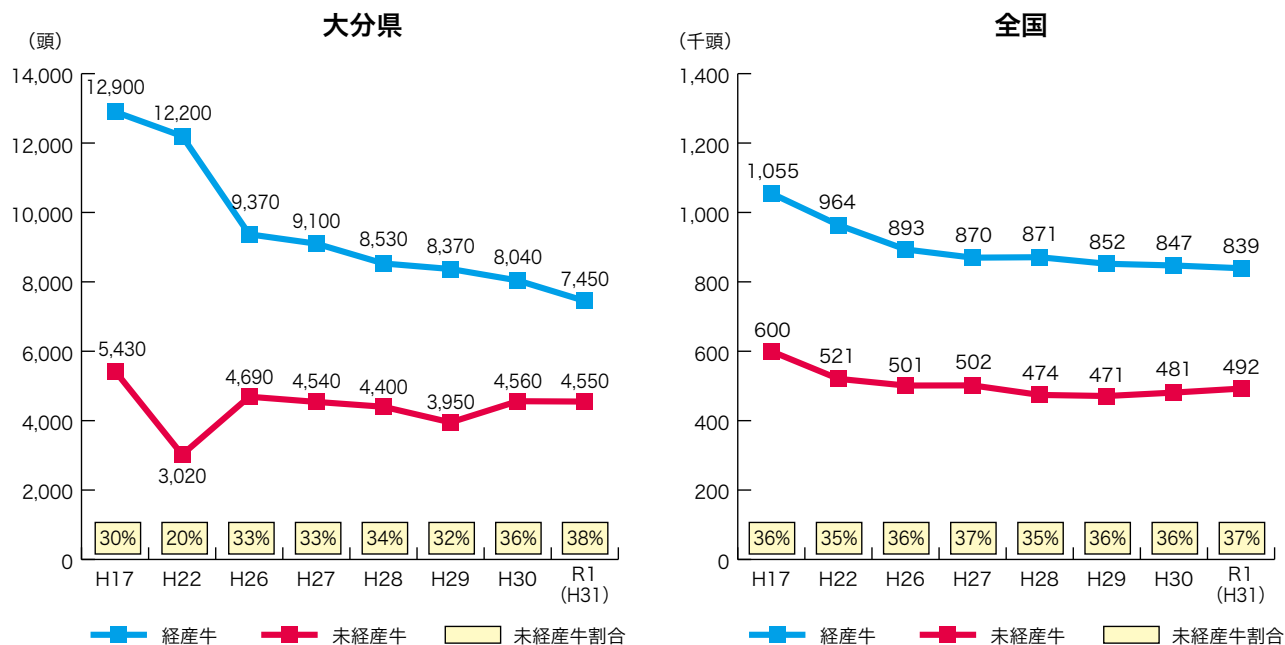
2. 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(2) 用途別頭数の推移



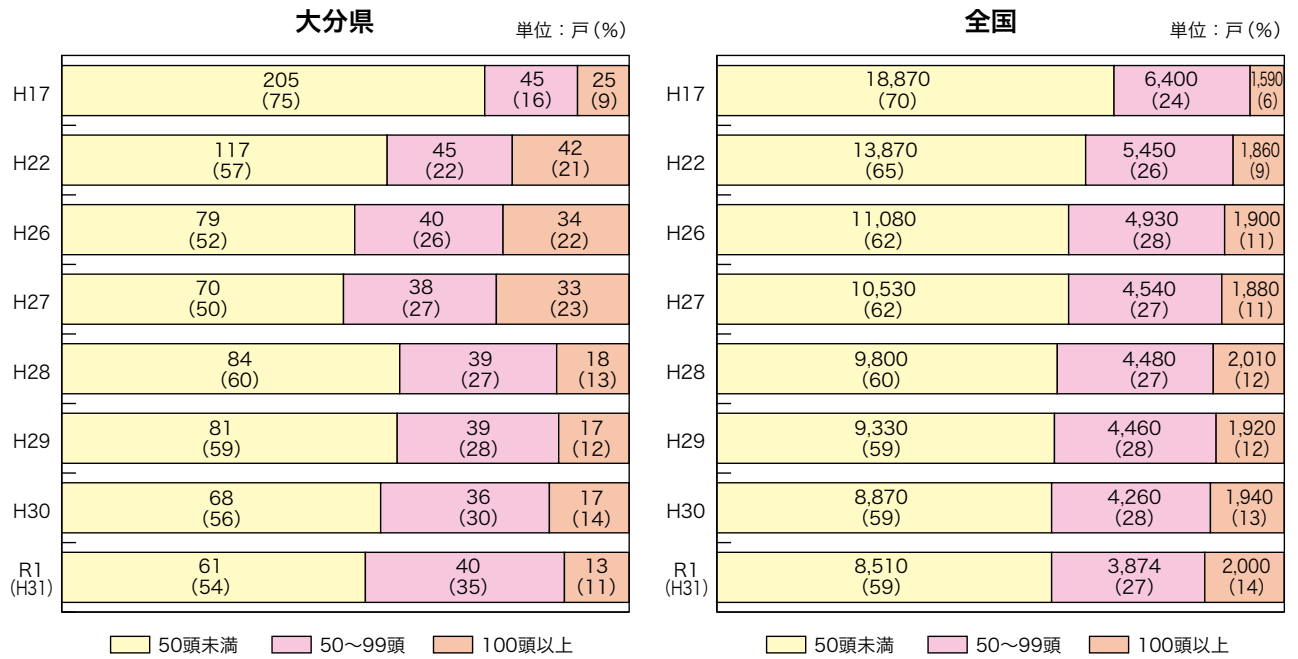
資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) 搾乳牛：経産牛のうち、搾乳中の牛のこと。

(注2) 乾乳牛：経産牛のうち、搾乳していない牛のこと。分娩前乾乳と空胎乾乳がある。

(注3) 未経産牛：出生してから分娩するまでの牛で、生後30ヶ月位までが主体。

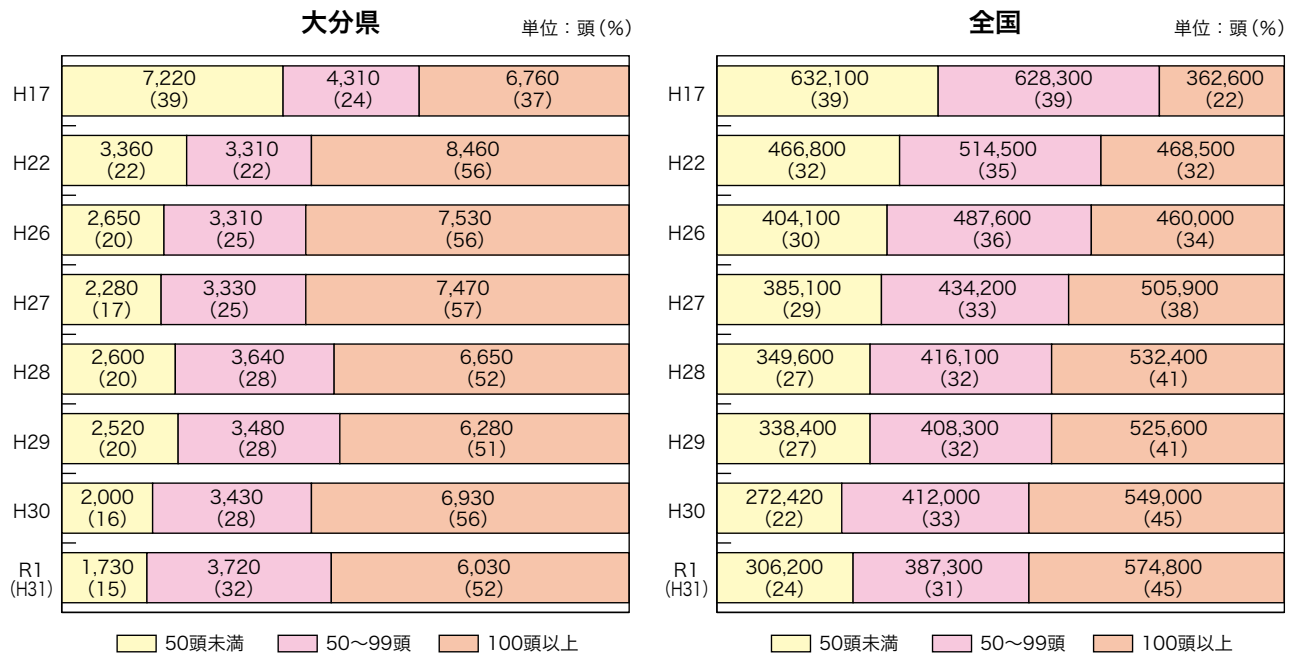
(3) 成畜飼養頭数規模別飼養戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

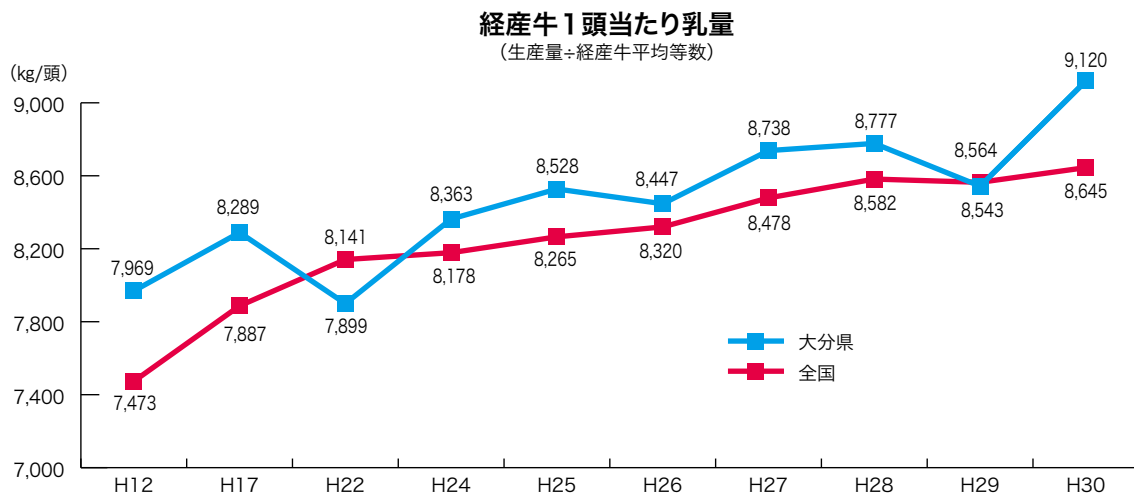
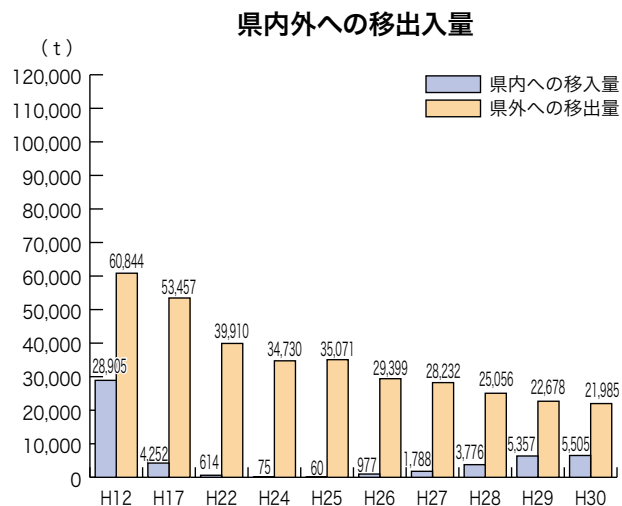
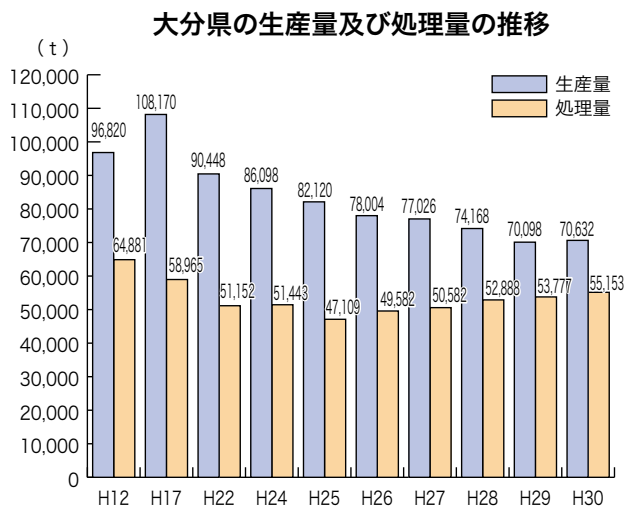
(4) 成畜飼養頭数規模別飼養頭数の推移



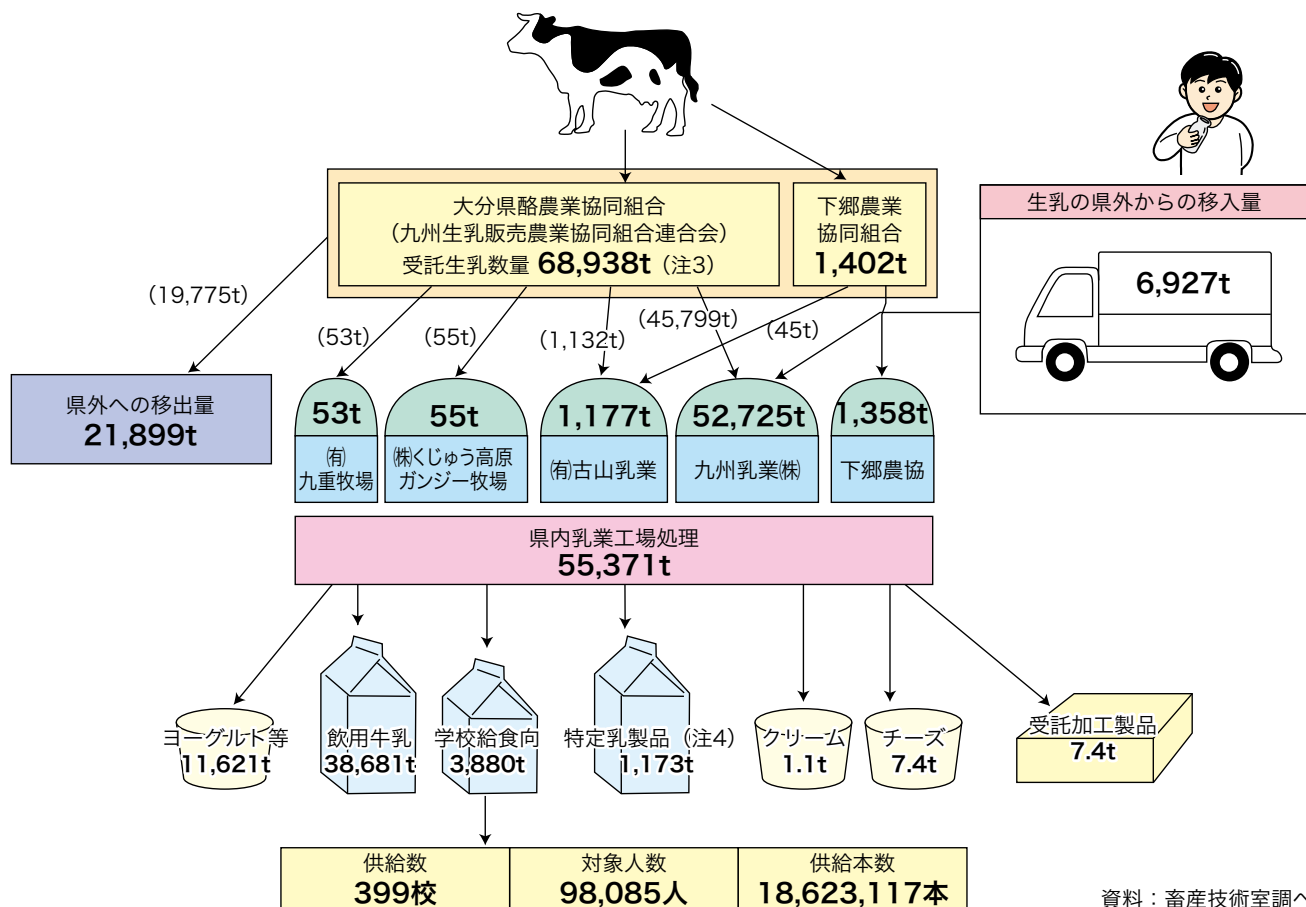
資料：農林水産省「畜産統計」

(注) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 生乳生産量・処理量の推移



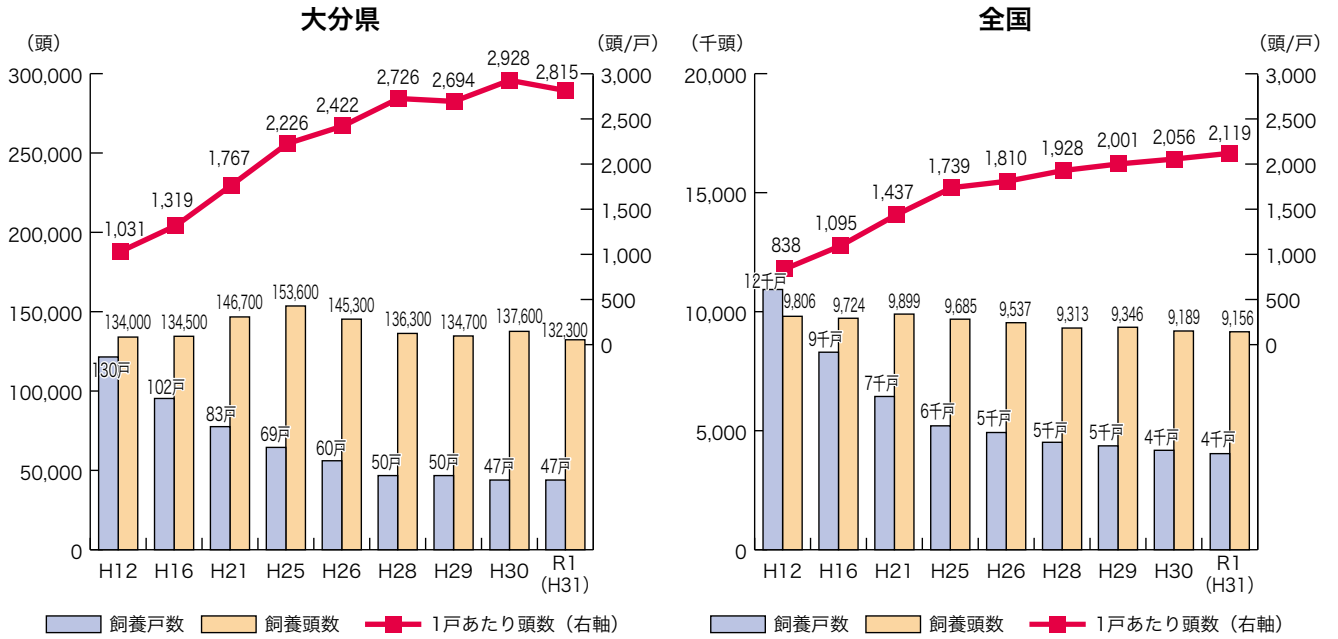
(6) 生乳の流通 (30年度)



- (注1) 生乳生産量：初乳を除く生乳（搾乳したままの乳用牛の乳）の総量であり、乳製品工場、牛乳処理場に出荷したもののほか、生産者の自家飲用、子牛ほ乳用等を含めたもの。
- (注2) 生乳処理量：生乳を県内で乳製品向け、飲用牛乳向け、その他向け（自家飲料、子牛のほ乳用）に処理したものの量。
- (注3) 受託生乳数量：酪農家が県酪に委託して、九州生乳販売農業協同組合連合会に出荷した量。
- (注4) 特定乳製品：全粉乳、脱脂粉乳、加糖粉乳、全脂加糖練乳、脱脂加糖練乳、全脂無糖練乳、バター及び子牛用の脱脂乳をいう。
- (注5) 当該データはH30年度数値であり、農林水産省「牛乳乳製品統計」はH30年数値であるため、両者は必ずしも一致しない。

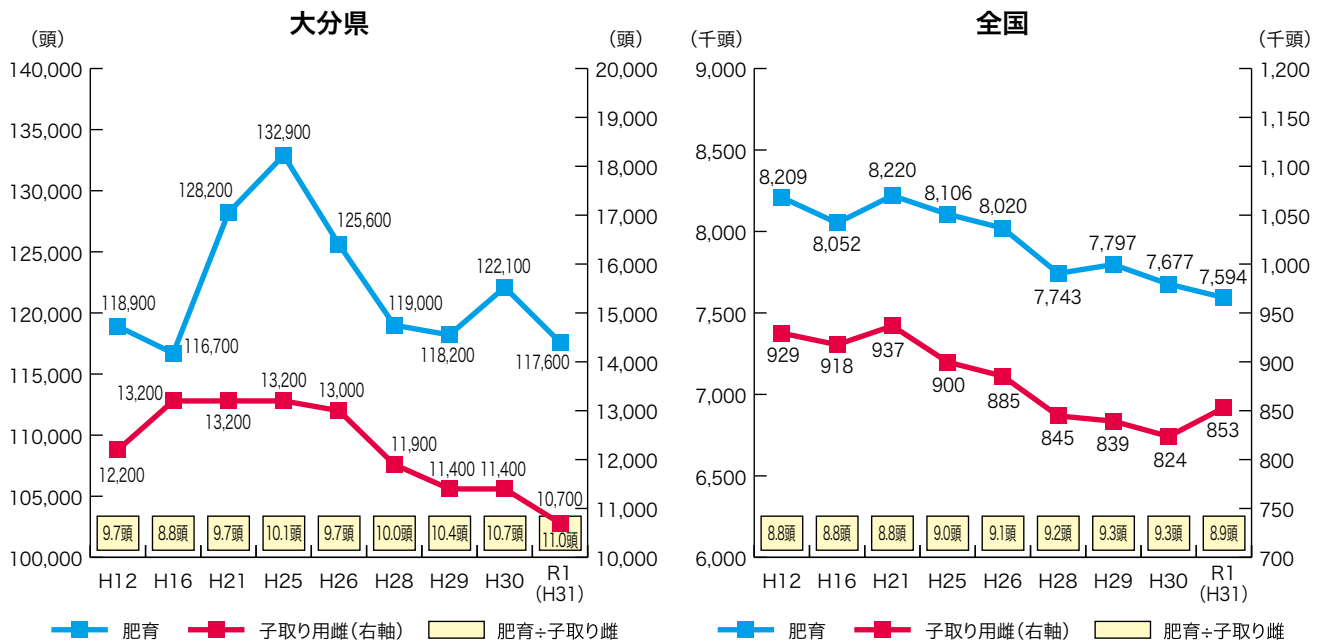
3. 豚

(1) 飼養戸数・頭数の推移



(注) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表

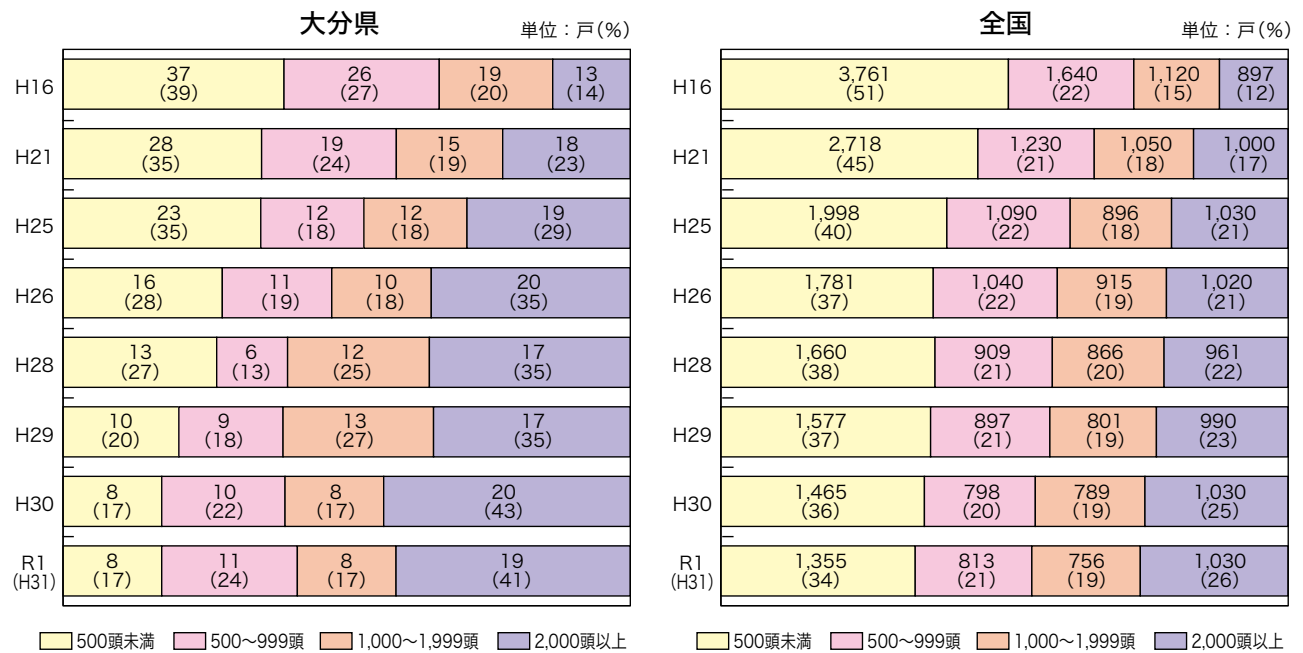
(2) 用途別頭数の推移



(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表

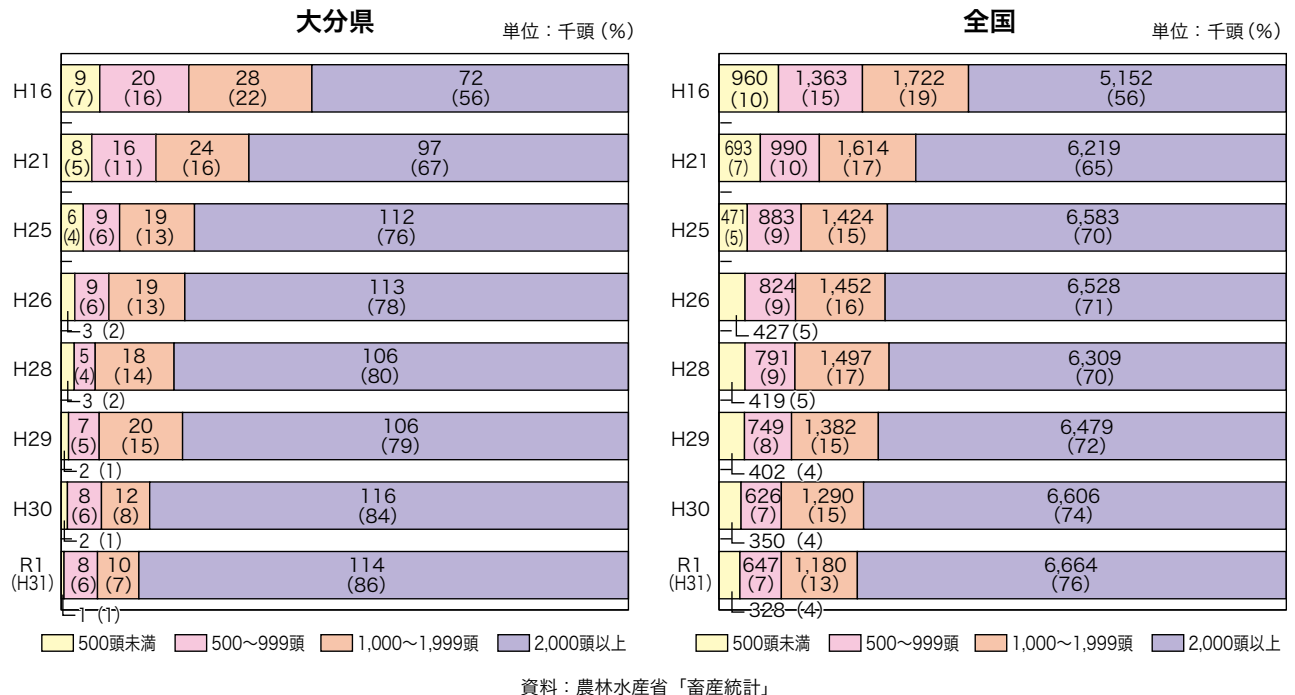
(注2) 子取り用めす豚とは生後6ヶ月以上で子豚を生産することを目的としているめす豚のこと。
実際には過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚のこと。

(3) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数の推移



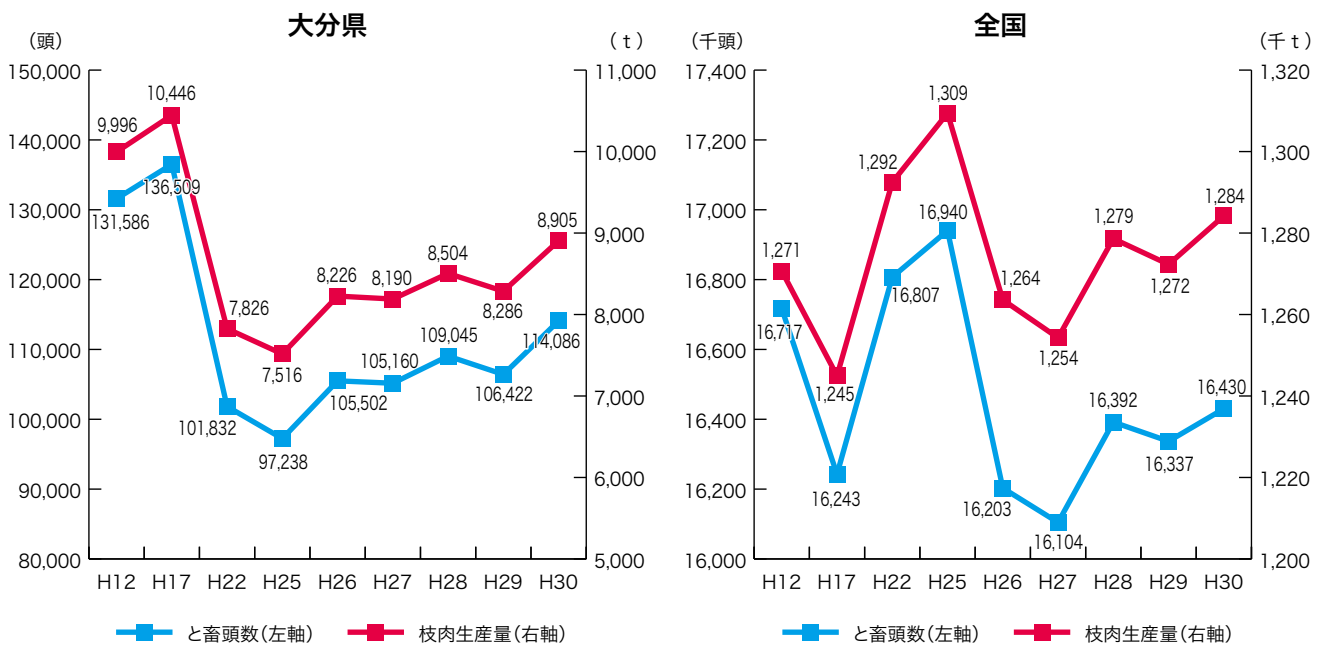
(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表
 (注2) 肥育豚：肉豚として販売することを目的としている豚をいい、もと豚として販売するものは含めない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(4) 肥育豚頭数規模別飼養頭数の推移



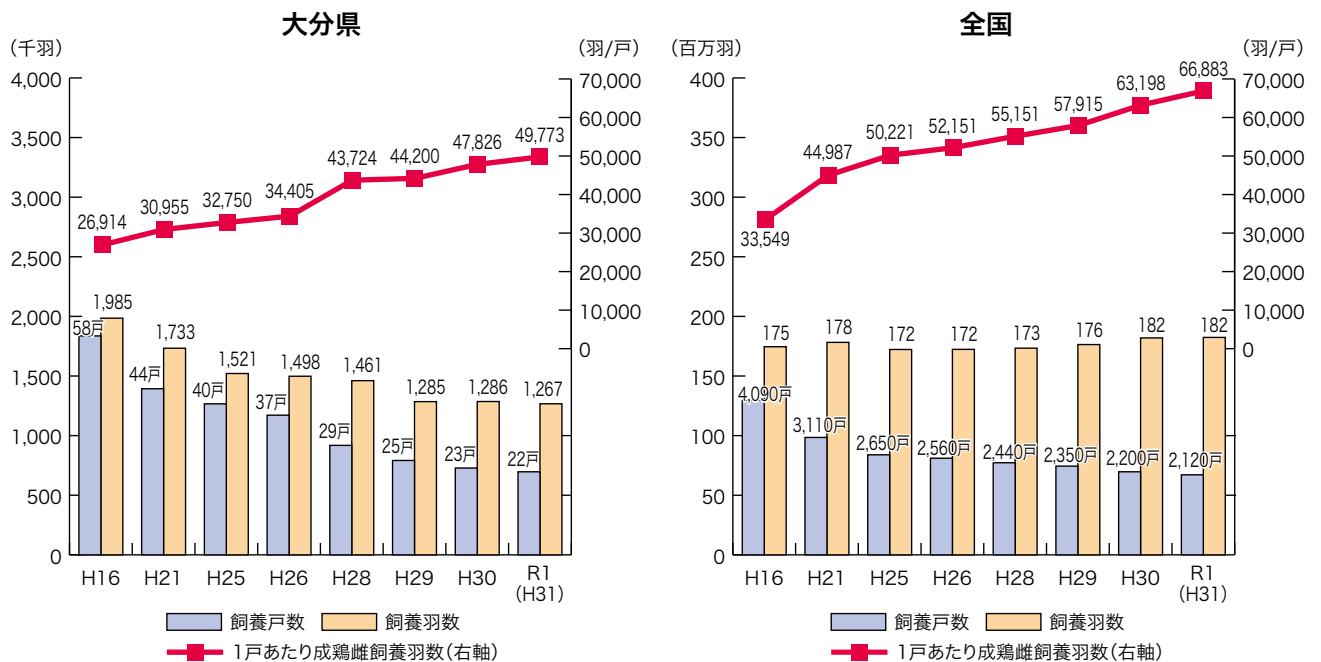
(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表
 (注2) 肥育豚：肉豚として販売することを目的としている豚をいい、もと豚として販売するものは含めない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない

(5) 肉豚のと畜及び枝肉の生産状況



4. 採卵鶏

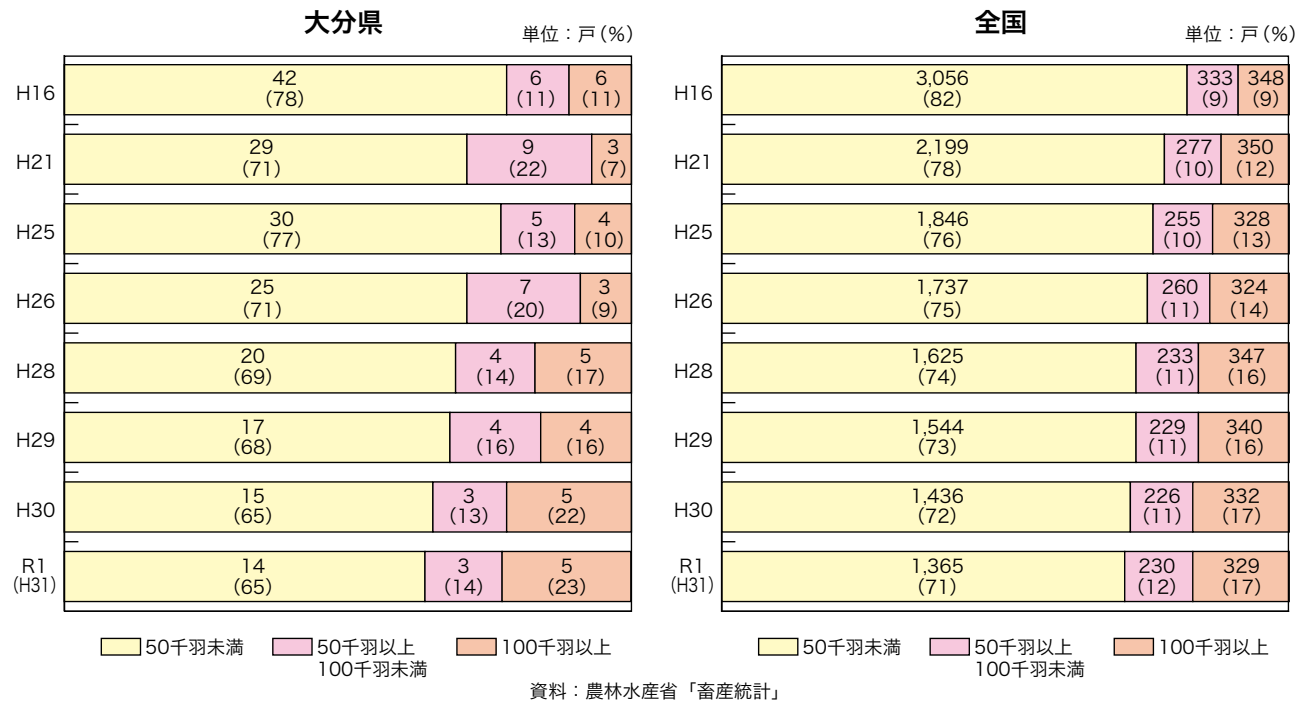
(1) 飼養戸数・羽数の推移



(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表。

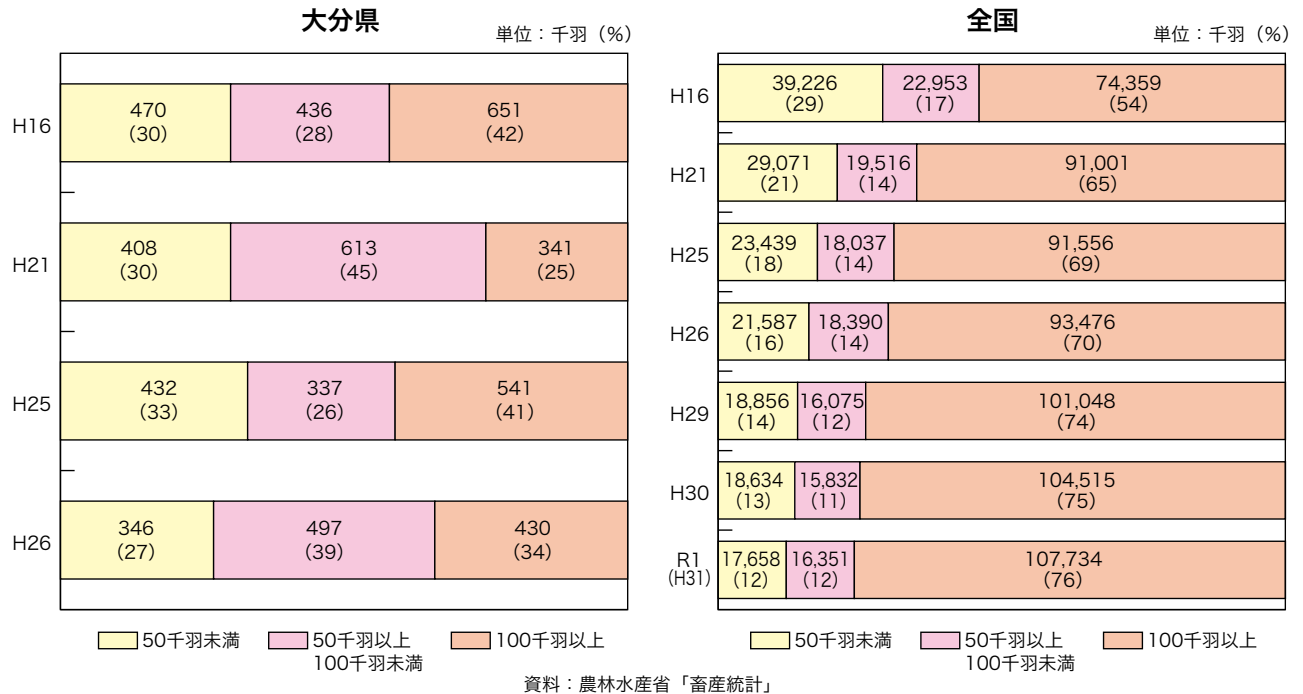
(注2) 飼養戸数・羽数は種鶏のみの飼養戸数、種鶏の飼養羽数を除き、成鶏めす羽数は1,000羽未満の飼養戸数・羽数を除く。

(2) 成鶏めす羽数規模別飼養戸数の推移



(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表。
 (注2) 戸数には1,000羽未満の飼養戸数は含まない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。

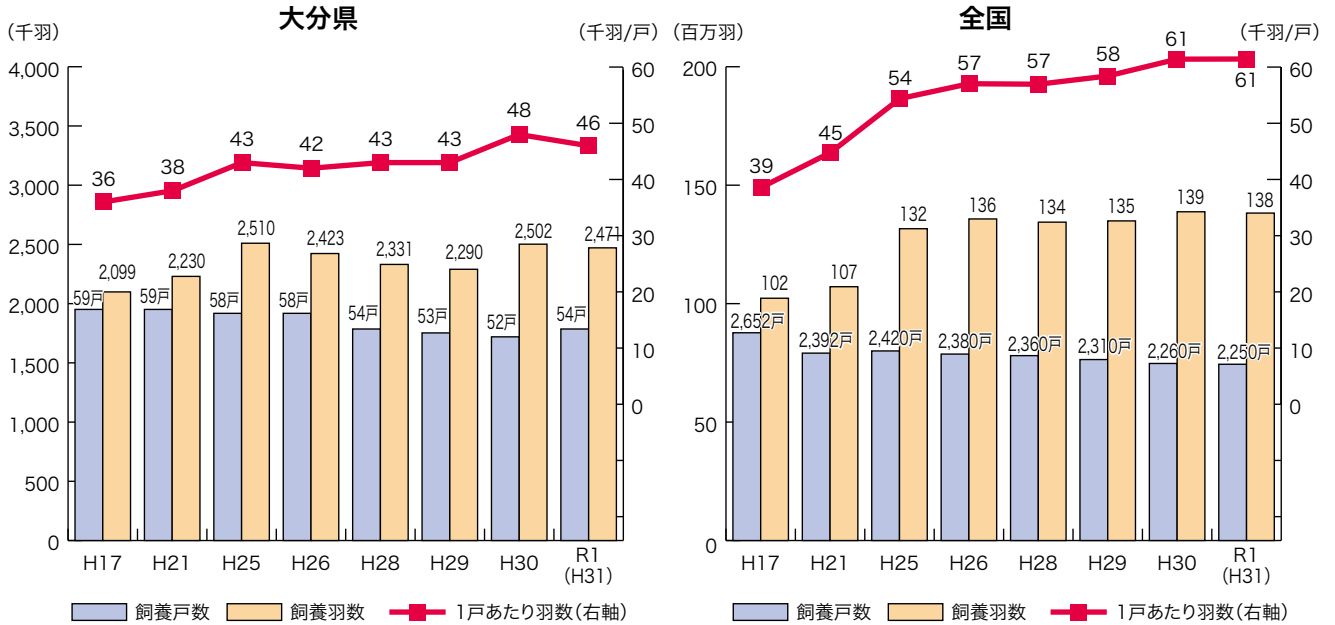
(3) 成鶏めす羽数規模別成鶏めす飼養羽数の推移



(注1) H17年、H22年及びH27年はセンサス実施年のため未公表。
 (注2) 戸数には1,000羽未満の飼養戸数は含まない。
 (注3) 学校・県機関等の非営利的な飼養者は含まない。
 (注4) H24年、H28年、H29年、H30年、R1年(H31年)の大分県数値は、一部に非公表数値があったためグラフから除外。
 当該非公表は少数調査農家の秘密保護を目的として行われるもの。

5. プロイラー

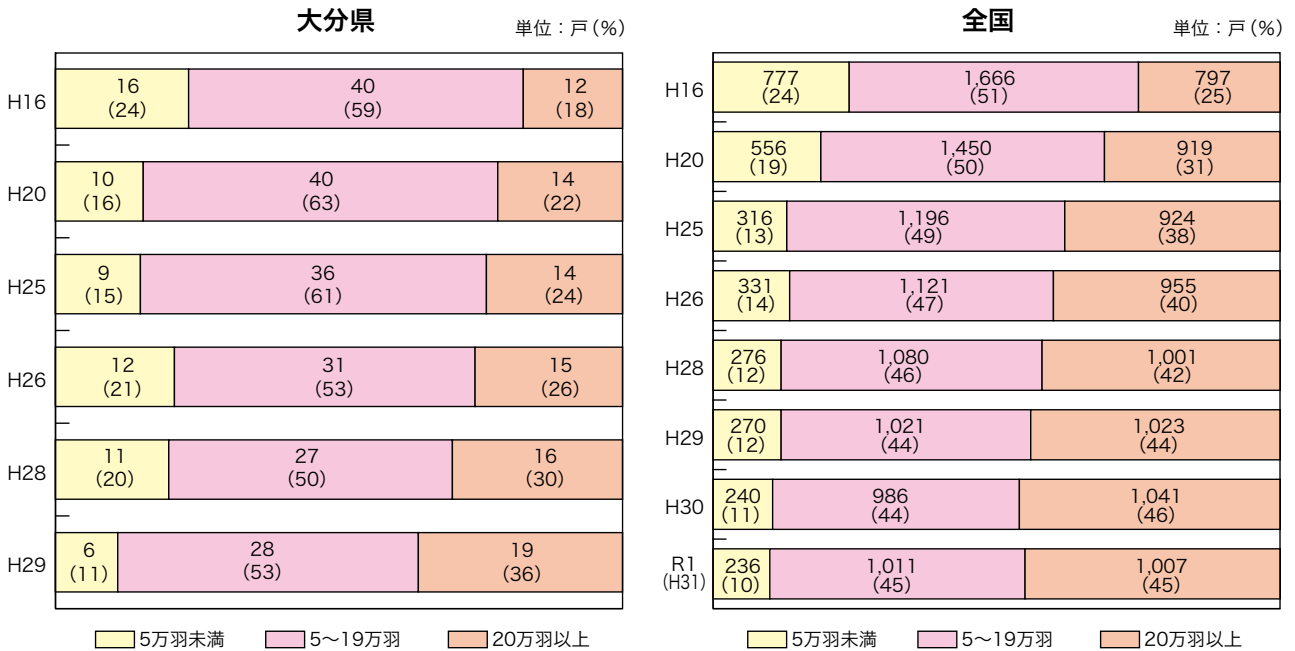
(1) 飼養戸数・羽数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) この統計は、2月1日現在のプロイラー飼養戸数及び飼養頭数を調査したもので、一時的に鶏舎消毒のためオールアウトしていた等により、プロイラーを飼養していない飼養者は除外したものである。
 (注2) H22年からH24年までは調査は行われなかったが、H25年から再開されている。
 (注3) H27年はセンサス実施年のため未公表。

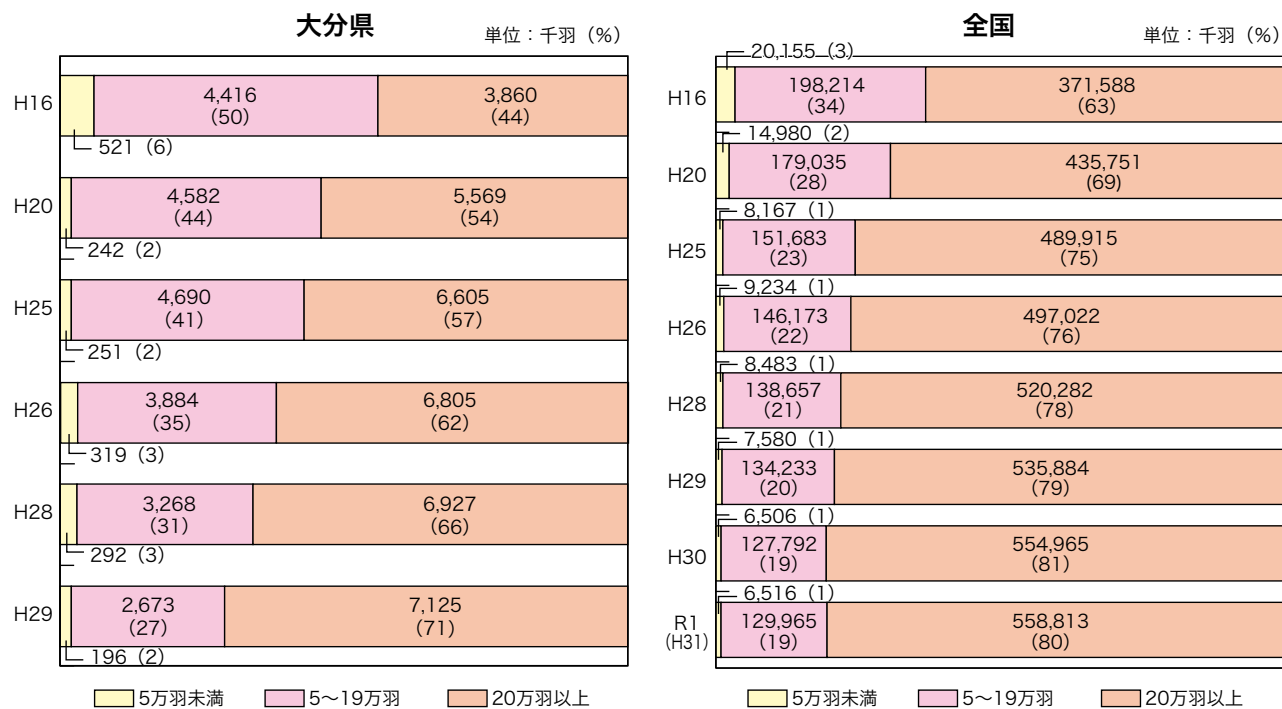
(2) 出荷羽数規模別出荷戸数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

(注1) H21年からH24年は調査が行われなかったが、H25年から再開されている。
 (注2) H27年はセンサス実施年のため未公表。
 (注3) H30、R1年(H31年)の大分県数値は、一部に非公表数値があったためグラフから除外。当該非公表は少数調査農家の秘密保護を目的として行われるもの。

(3) 出荷羽数規模別出荷羽数の推移



資料：農林水産省「畜産統計」

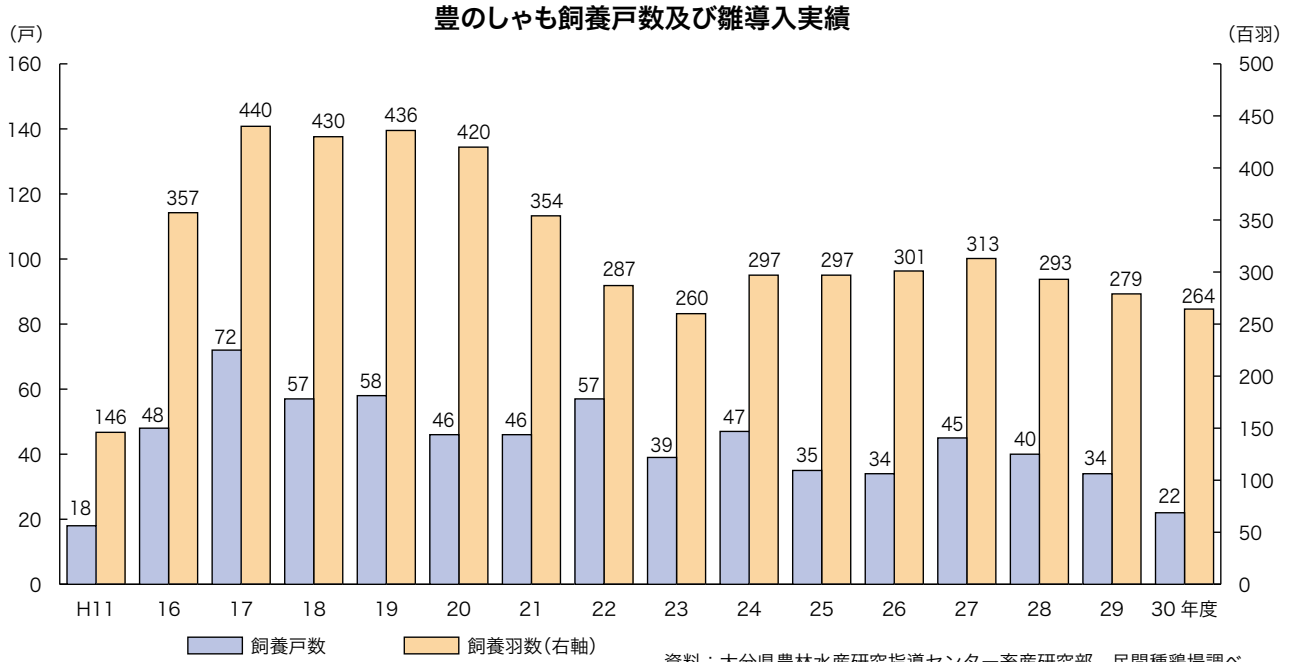
(注1) H21年からH24年までは調査は行われなかったが、H25年から再開されている。

(注2) H27年はセンサス実施年のため未公表。

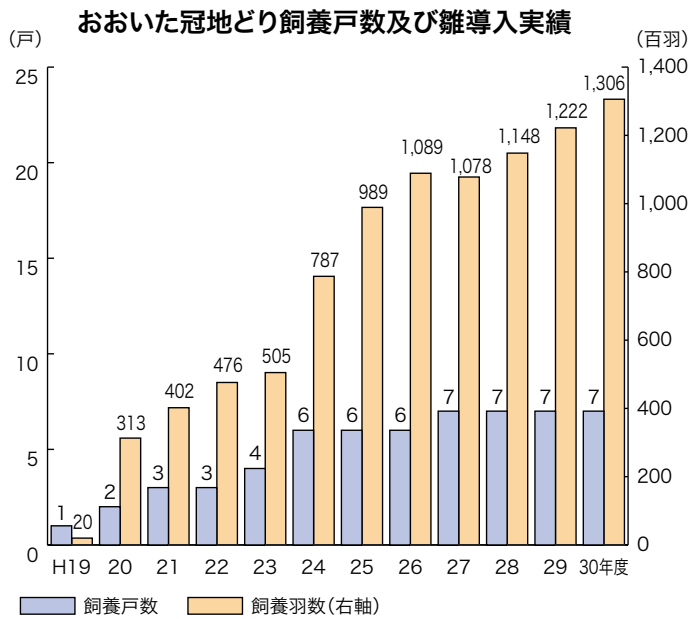
(注3) H30、R1年(H31年)の大分県数値は、一部に非公表数値があったためグラフから除外。
当該非公表は少数調査農家の秘密保護を目的として行われるもの。

6. 地鶏

(1) 豊のしゃも



(2) おおいた冠地どり



(3) 地鶏取扱店

① 豊のしゃも取扱店 (H30.10現在)

- ・ 県内卸小売 14店 (15店：93%)
- ・ 県内料理店 40店 (41店：98%)
- ・ 県外卸小売 9店 (9店：100%)
- ・ 県外料理店 32店 (29店：110%)
- 計 95店 (94店：101%)

※ () 内はH28年10月時点の店舗数及びH28年10月からH30年10月にかけての伸び率 (%)
 ※ 取扱店の調査は隔年で実施するため、R1 (H31) 年度は調査していない。

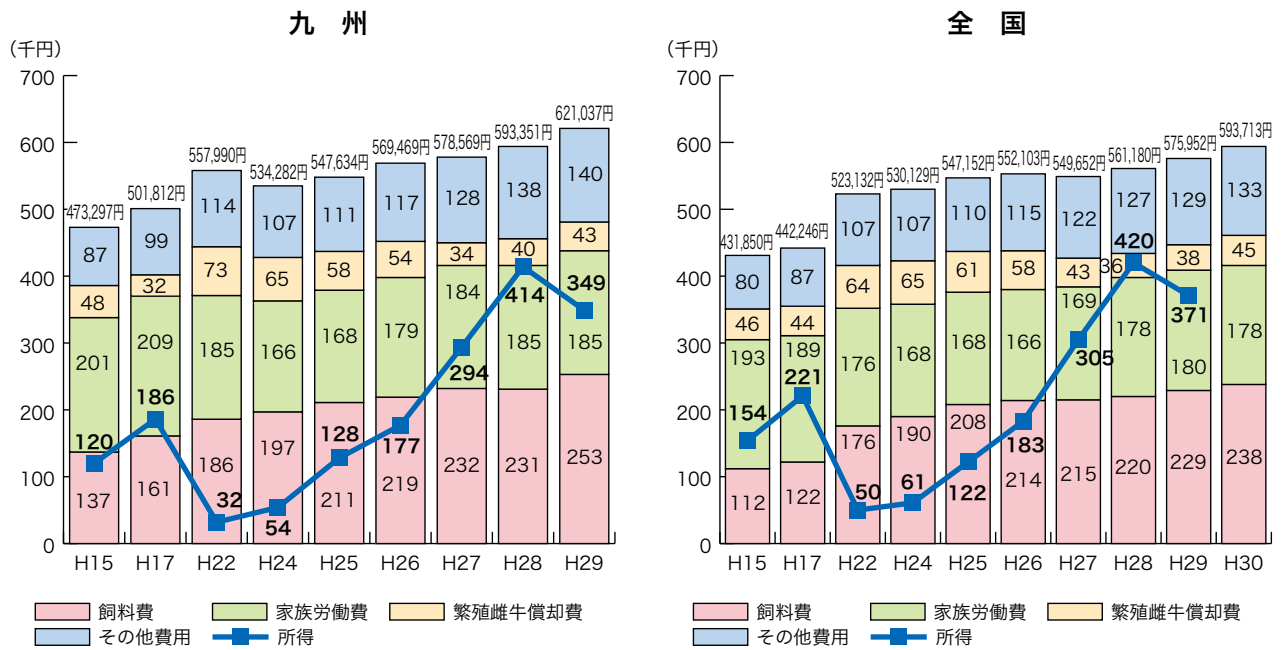
② おおいた冠地どり取扱店 (H30.10現在)

- ・ 県内卸小売 87店 (80店：109%)
- ・ 県内料理店 398店 (372店：107%)
- ・ 県外卸小売 58店 (53店：109%)
- ・ 県外料理店 144店 (106店：136%)
- 計 687店 (611店：112%)

※ () 内はH28年10月時点の店舗数及びH28年10月からH30年10月にかけての伸び率 (%)
 ※ 取扱店の調査は隔年で実施するため、R1 (H31) 年度は調査していない。

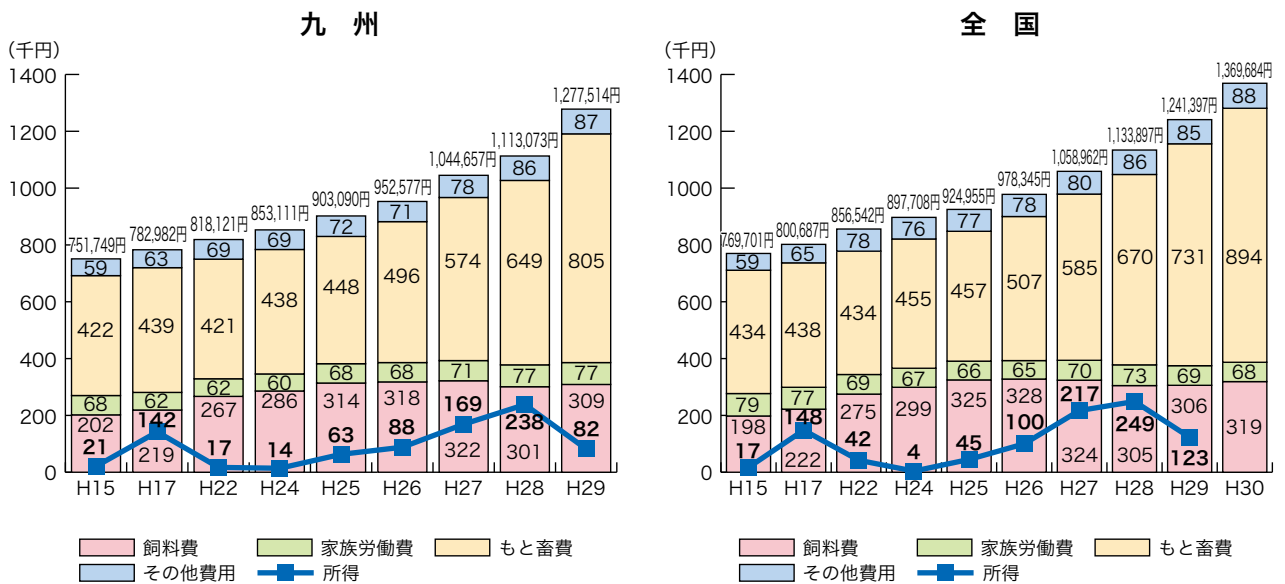
7. 生産費と所得の推移

(1) 子牛の生産費（子牛1頭あたり）と所得（繁殖雌牛1頭あたり）の推移



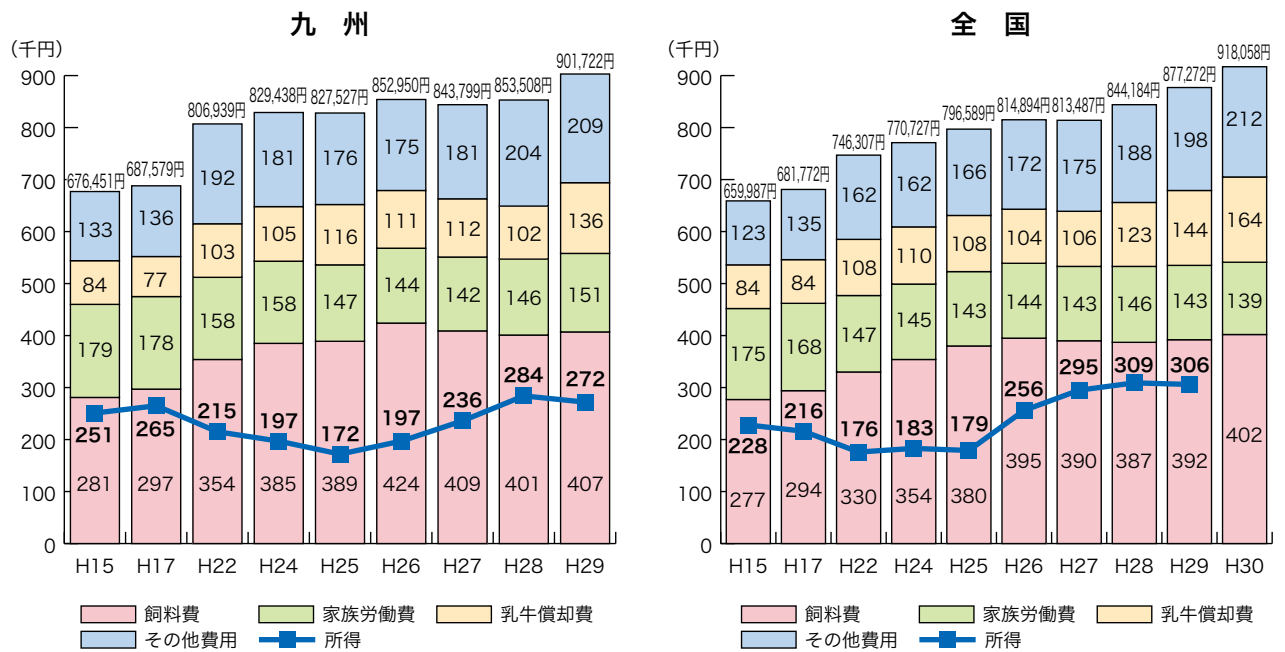
(注) 「大分の畜産2019」作成時点において、H30年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

(2) 肥育牛生産費と所得の推移（去勢肥育牛1頭当たり）



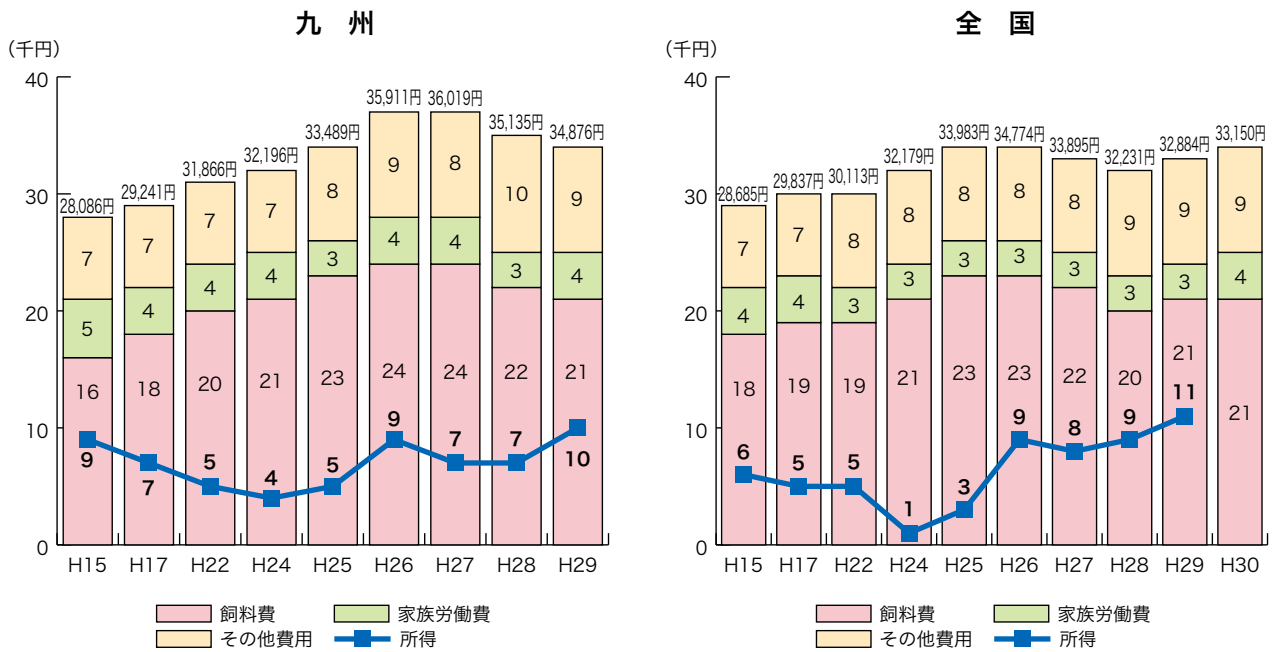
(注) 「大分の畜産2019」作成時点において、H30年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

(3) 生乳生産費と所得の推移（搾乳牛1頭当たり）



(注) 「大分の畜産2019」作成時点において、H30年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

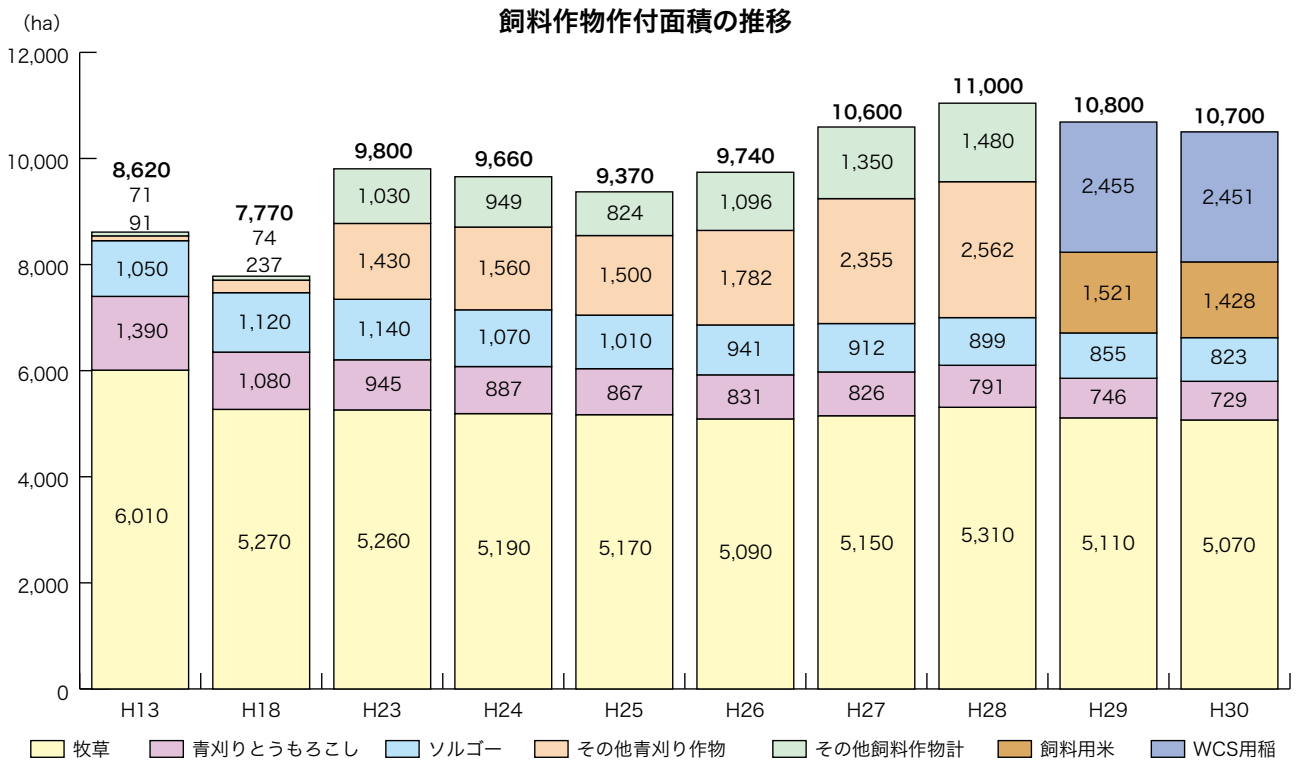
(4) 肥育豚生産費と所得の推移（肥育豚1頭当たり）



(注) 「大分の畜産2019」作成時点において、H30年度数値は全国数値の一部のみ公表されている。

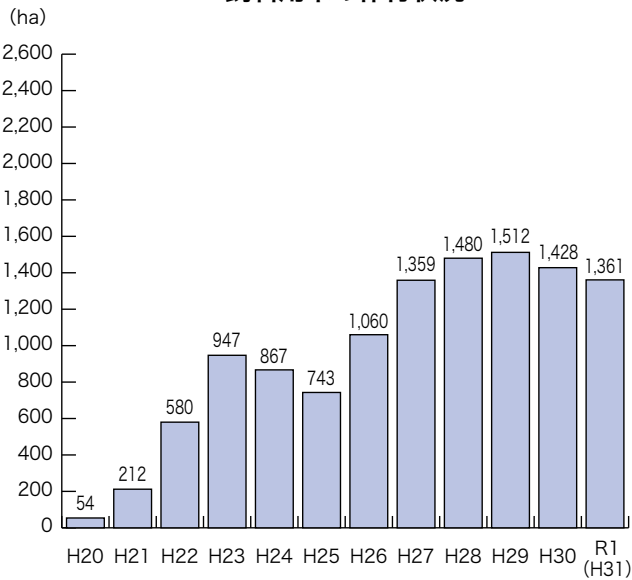
Ⅲ 飼料

1. 飼料作物作付状況

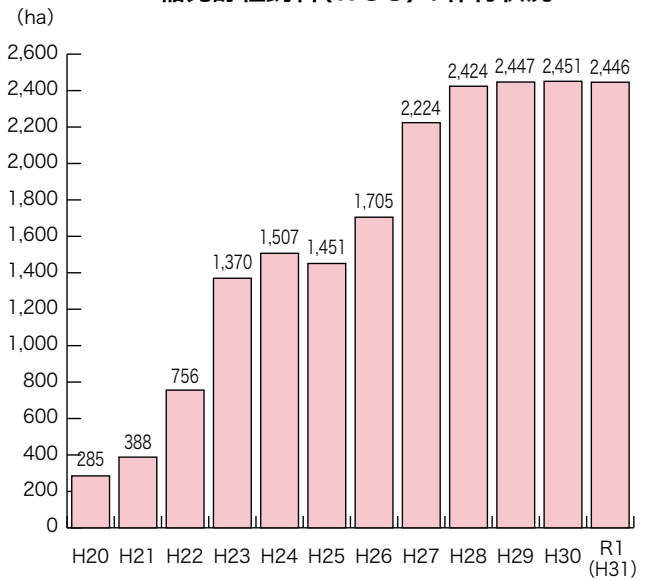


(注) H28年までの調査項目「その他青刈り作物」「その他飼料作物計」は、H29年から「飼料用米」「WCS用稲」に変更となっている。

飼料用米の作付状況

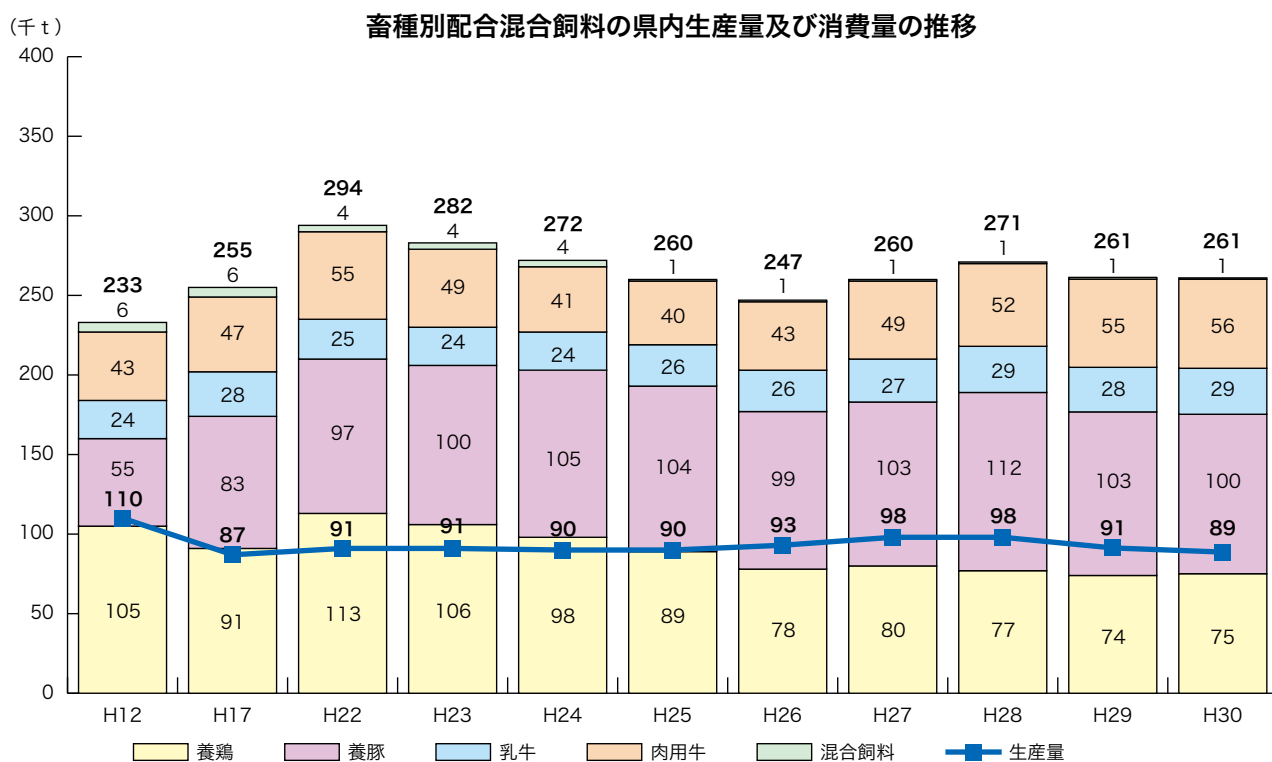


稲発酵粗飼料(WCS)の作付状況



資料：畜産技術室調べ

2. 配合混合飼料



資料：農林水産省「飼料月報」

(注) 混合飼料：行政や流通の上から、ある特定成分の補給又は輸入関税の免税措置を受けられることを目的に製造される配合飼料の一種。
 配合飼料：2種類以上の飼料原料を一定の割合で混合した物。我が国では一般に家畜・家さんの種類や飼料目的に応じて、必要な養分を十分含むように市販されているものが多い。
 四捨五入の関係で内訳の計は必ずしも総数に一致しない。

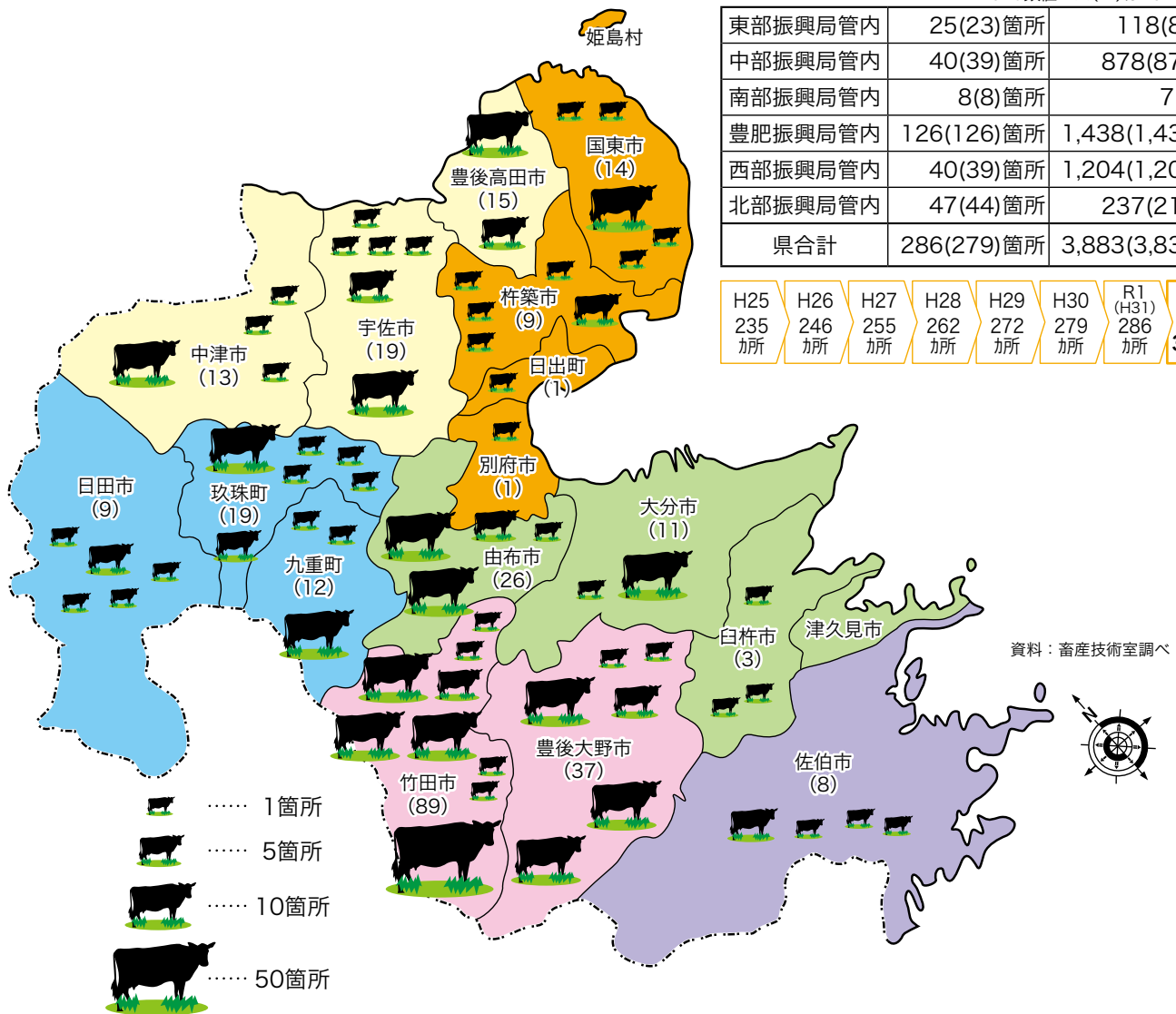
3. 放牧取組状況

(1) 大分県における「おおいた型放牧」分布図

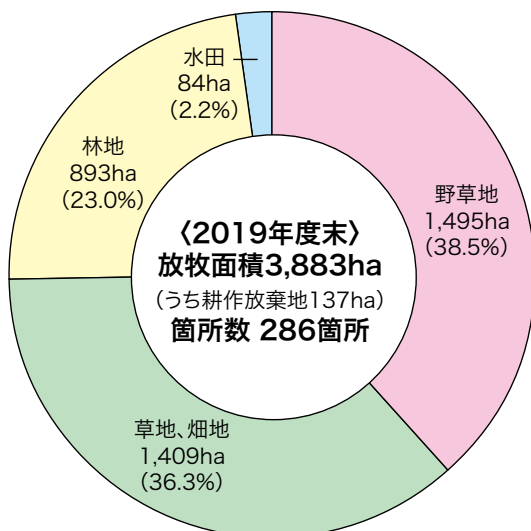
2019数値 ※()は2018年数値

東部振興局管内	25(23)箇所	118(87)ha
中部振興局管内	40(39)箇所	878(877)ha
南部振興局管内	8(8)箇所	7(7)ha
豊肥振興局管内	126(126)箇所	1,438(1,438)ha
西部振興局管内	40(39)箇所	1,204(1,203)ha
北部振興局管内	47(44)箇所	237(218)ha
県合計	286(279)箇所	3,883(3,831)ha

H25 235 カ所	H26 246 カ所	H27 255 カ所	H28 262 カ所	H29 272 カ所	H30 279 カ所	R1 (H31) 286 カ所	R6 目標 300カ所
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	--------------------------	----------------------------



(2) おおいた型放牧面積の地目別内訳



シバ型草地における親子周年放牧

IV 家畜衛生・畜産環境

1. 監視伝染病の発生状況

(単位：頭・羽)

区分	監視伝染病																																	
	法定伝染病										届出伝染病																							
	特定家畜伝染病	炭疽	結核	ヨ―ネ病	性馬貧血	流行性脳炎	スニールカ病	家きんサルモネラ症	ふそ病	伝達性海綿状脳症(TSE)	アカバネ病	鼻牛気管炎	牛白血病	ルイスノ感染症	病イバラ※	破傷風	気腫疽※	ネオスポラ症	下痢ウイルス病	キ―エ病	胃腸炎	性豚下痢	豚丹毒※	サルモネラ症	マレック病	気管性肺炎	ロイコチトソン	鶏痘	リキウ性スア病	悪性カタル熱	レプトスピラ症	PRRS	豚赤痢	チヨーク病
年次	鶏	牛	豚	牛	馬	豚	鶏	鶏	豚	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	牛	豚	豚	豚	豚	牛	豚	鶏	鶏	鶏	鶏	牛	犬	豚	豚	豚	
H10										11	1	11	4										9											
11										21		31	10		2								4	2	69	100								
12												20			1	8	1							2										
13				1								11			2									8										
14				1								24					1	1		40			42	11		1				1				
15				13							14	61			1		2			150			127	48	2									
16	1			8							3	54			2	1	1	1				90	4								1			
17				2								48											83	5	9									
18				10				1		8	2	73											102	3	6							4		
19				5						2	1	53											98											
20				5						1	1	38					1						91	9										
21				9						2		40			1		1	3					156	8		6	100				2	7		
22				6							1	44			2			1					137	3							1			
23	9			7					1		1	56			1			1					69	1							1			
24				4								30						1	1				43	7		1								
25				1								39						1	1				28		8		3						1	
26				5								25					1				15		112	3										
27							2					31							2				242	2								2		
28				3		11						52											209	1	3								1	
29				2							8	47											28	10										
30												46			1								20	1								1		

※印の疾病は平成9年度まで法定伝染病
 出展：農林水産省「監視伝染病の発生状況」より



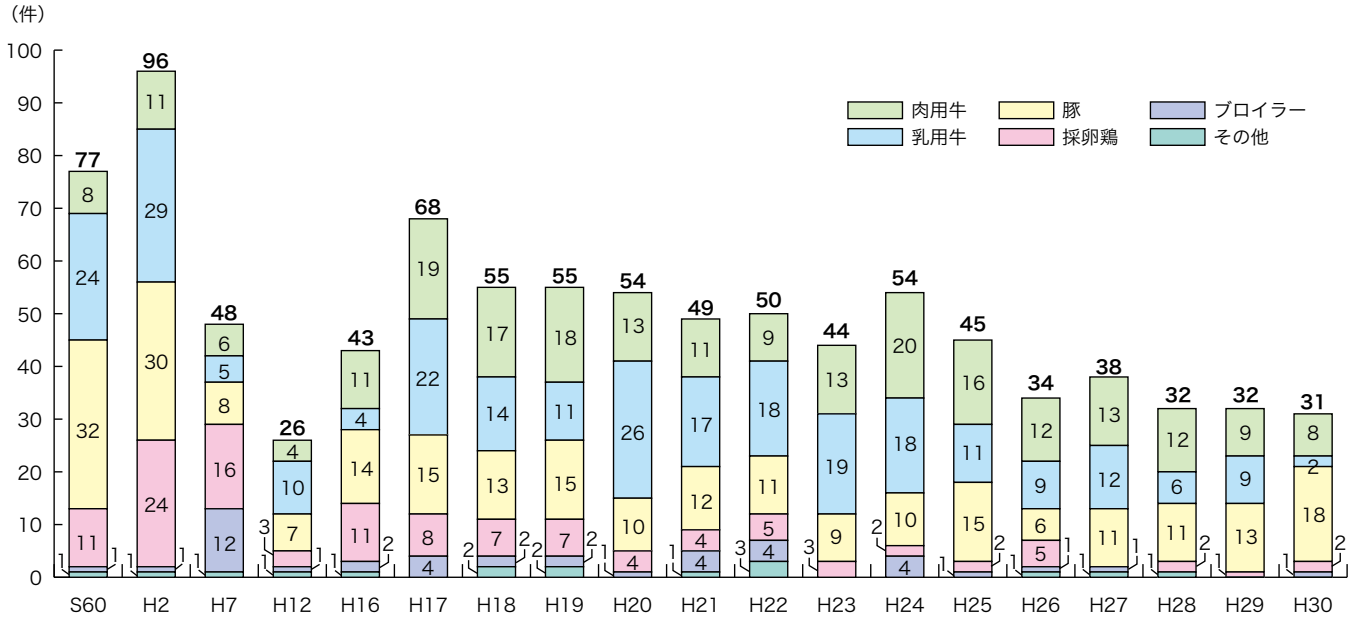
防疫演習



防疫演習

2. 環境汚染問題畜種別発生件数

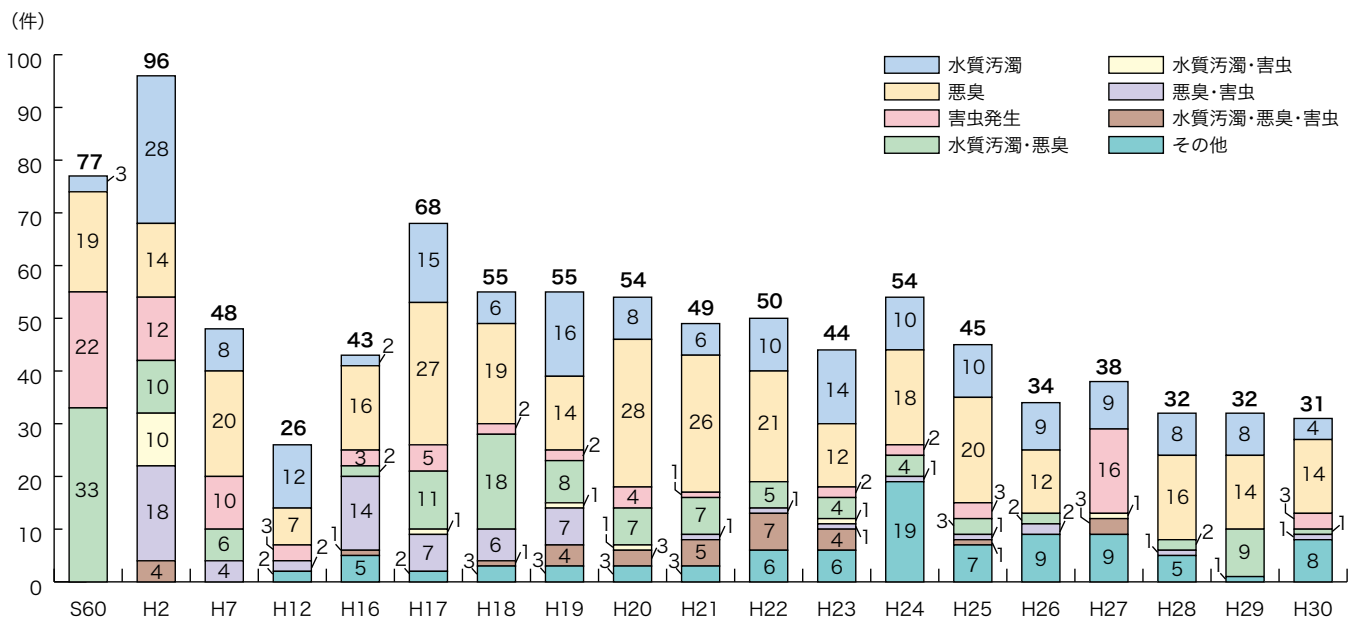
(1) 畜種別苦情発生件数



(注) 各年度の調査期間は当該年度の7月から翌年の6月まで。

畜産振興課調べ

(2) 種類別苦情発生件数



(注) 各年度の調査期間は当該年度の7月から翌年の6月まで。

畜産振興課調べ

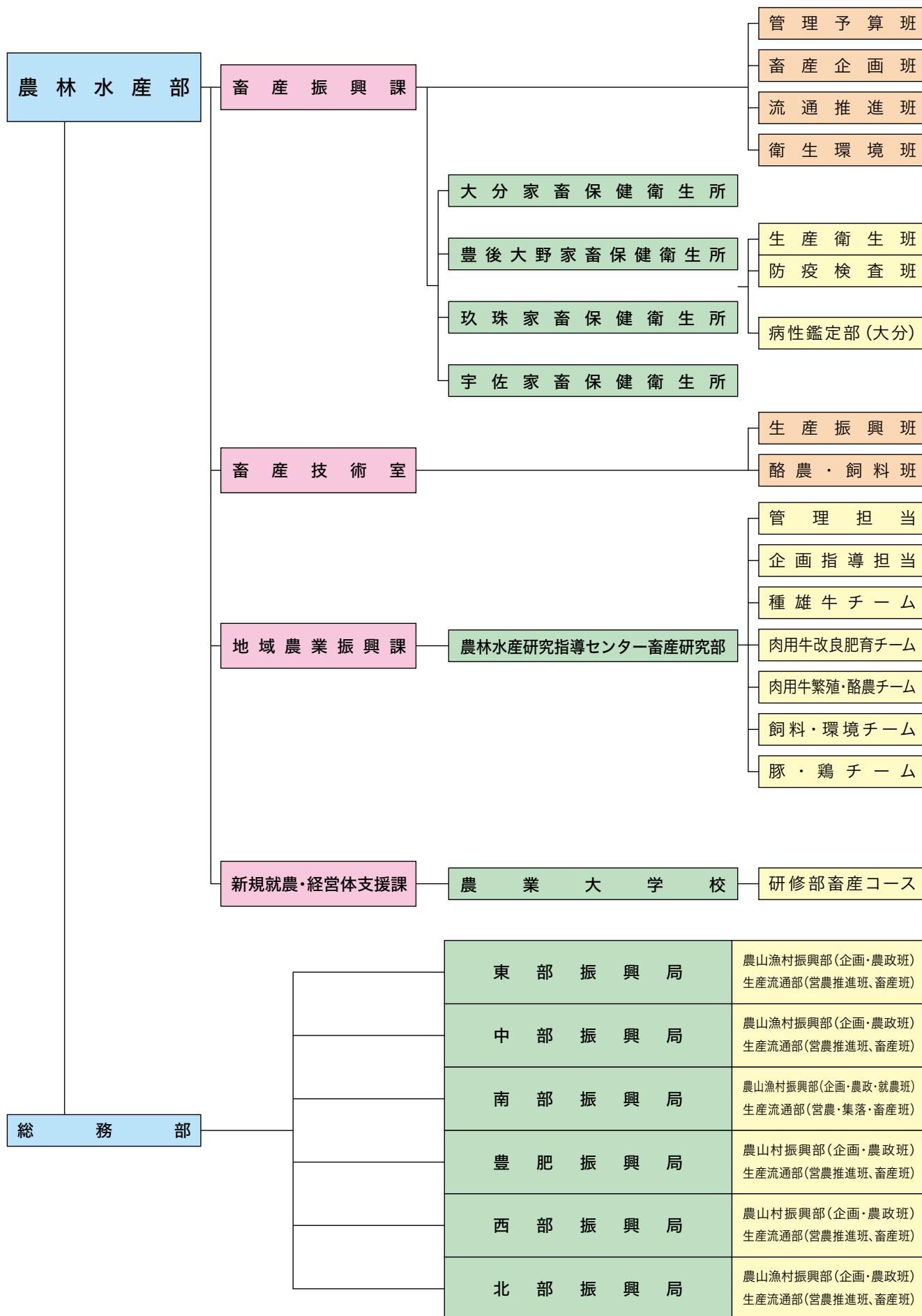
(資料1)

畜産関係団体等一覧

名称	代表者	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
(公社)大分県畜産協会	会 長 近藤 和義	870-0844	大分市古国府1220 (JA全農大分県本部内)	097-545-6591	554-4049
(公社)大分県獣医師会	会 長 麻生 哲	870-0901	大分市廻栖野3231-47 おおいた動物愛護管理 センター 管理棟2F	097-555-9527	555-9528
大分県農業共済組合	組合長理事 阿部 順治	870-0822	大分市大道町3-1-1	097-544-8110	544-8242
(一社)大分県配合飼料価格 安定基金協会	理事長 佐藤 祐一郎	870-0025	大分市顕徳町2-1-3 カーサ阿部203	097-534-2727	534-0991
大分県家畜人工授精師協会	会長 沓掛 義範	870-8501	大分市大手町3-1-1 (県庁畜産振興課内)	097-506-3678	506-1762
(公社)全国和牛登録協会 大分県支部	支部長 近藤 和義	870-0844	大分市古国府1220 (全農大分県本部別館1階)	097-574-8588	574-8258
大分県家畜商業協同組合	理事長 石田 和男	870-0044	大分市古国府1220 (全農大分県本部別館1階)	097-574-8588	574-8258
(株)大分県畜産公社	代表取締役社長 二宮 伊作	879-7305	豊後大野市犬飼町田原 1580-29	097-578-0290	578-0308
大分県食肉事業協同組合 連合会	会長 清田 浩徳	870-1121	大分市鷲野929-3	097-529-6544	529-6599
大分県酪農業協同組合	代表理事組合長 清末 健一	870-1201	大分市廻栖野3231	097-586-4222 (管理部)	586-4226
(一社)大分県酪農ヘルパー協会	会長 清末 健一	870-1201	大分市廻栖野3231 (大分県酪内)	097-586-4293 (酪農部)	586-4226
大分県牛乳普及協会	会長 清末 健一	870-1201	大分市廻栖野3231 (大分県酪中央支所内)	097-586-4223	586-4226
(株)大分県酪食肉公社	代表取締役 安藤 康宣	870-0108	大分市大字三佐字新港 2405-2	097-521-4452	522-2743
(有)大分県酪農振興公社	代表取締役 本川 一喜	870-1201	大分市廻栖野3231 (大分県酪内)	097-586-4222	586-4226
大分県草地飼料協会	会長 首藤 勝次	870-8501	大分市大手町3-1-1 (県庁畜産技術室内)	097-506-3684	506-1762
大分県養豚協会	会長 工藤 厚憲	870-0844	大分市古国府1220 (大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
大分県養鶏協会	会長 荒牧 洋一	870-0844	大分市古国府1220 (大分県畜産協会内)	097-545-6593	554-4049
大分県養蜂組合	組合長 枝次 秀樹	879-5506	由布市挾間町挾間604	097-583-3307	—
全国農業協同組合連合会 大分県本部	本部長 長野 博文	870-8635	大分市古国府1220	097-544-0101	546-6840
大分県農業協同組合中央会	会長 二宮 伊作	870-0044	大分市舞鶴町1-4-15 (大分県農業会館内)	097-538-6366	538-7125
大分県信用農業協同組合 連合会	代表理事理事長 船石 信和	870-0044	大分市舞鶴町1-4-15 (大分県農業会館内)	097-538-6385	535-2746

(資料2)

畜産関係機関県組織機構 (平成31年4月1日現在)



(資料3)

令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1~12月)

月 日	内 容
1月18日~27日	横浜赤レンガ倉庫の鍋小屋イベントで「おおいた和牛」(「おおいた和牛」の温泉水でのしゃぶしゃぶ)の鍋を提供
1月26日	「おおいた和牛」×JR九州 新春列車 in 豊後大野市への参加 [写真①]
1月31日~2月1日	平成30年度全国コントラクター等情報連絡会議(日田市)を開催
2月3日	べつだいウォークで「米の恵み」PR
2月9日	イオンパークプレイス大分で「肉の日」PR [写真②]
2月16日	OAB番組「れじゃぐる」で「おおいた和牛」PR [写真③]
2月22日~26日	イオンモール桂川(京都府)で大分フェア参加
3月	「大分県肉用牛振興計画」~おおいた和牛日本一プロジェクト~の策定
3月14日	「おおいた和牛」寿司 発表及び試食会 [写真④⑤]
3月20日	雑誌「東京カレンダー」に「おおいた和牛」とサポーターショップの広告掲載
3月23日~24日	「おおいた人とみどりふれあいいち」(大分市平和市民公園)ブース出展で「おおいた和牛」「米の恵み」PR
5月1日~6月30日	ザ・リッツ・カールトン東京「ひのきざかー鉄板焼きー」で「おおいた和牛」をはじめ、県産食材PR ホテル日航プリンセス京都(豊園ー鉄板焼きー、嵯峨野ー日本料理ー)で「おおいた和牛」を取り入れたコース料理を提供
5月20日	「おおいた和牛」プロモーション会議 [写真⑥]
7月~	「おおいた和牛」公式ホームページへの「英語版」「中国語(繁体字)」掲載による外国人向け情報発信
7月1日~30日	「おおいた和牛」夏のごほうびキャンペーンを実施
7月3日	第12回全国和牛能力共進会大分県推進協議会設立総会(大分市 コンパルホール) [写真⑦]
7月12日	九州・沖縄ブロック家畜保健衛生業績発表会(福岡県)
7月21日	おんせん県おおいた就農フェア(東京都)
7月31日~8月3日	Rakuten OPTIMISM2019(パシフィコ横浜)全国ブランド牛フェスで「おおいた和牛」ブース出展
8月2日~3日	サマーフェスタ! 2019(大分七夕まつり)若草公園で「おおいた和牛」「米の恵み」PR
8月18日	おんせん県おおいた就農フェア(大分市) [写真⑧]

令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1~12月)

月 日	内 容
8月20日	「おおいた和牛」の生産現場を巡る親子バスツアーの開催 [写真⑨]
8月22日~29日	大分県養蜂講習会を開催(県下4箇所)
8月30日~9月2日	おおいた物産観光フェア in 大丸梅田(大阪)で「おおいた和牛」PR
9月~10月	「おおいた和牛」料理付きの宿泊プランを提供
9月1日~2月29日	「おおいた和牛」ラッピングバスによるPR
9月2日	冠地どりコールドハム発表
9月2日~27日	るるぶキッチン(東京都・京都府)による「おおいた和牛」特集フェアの開催 [写真⑩]
9月7日~8日	オートポリス スーパーGT イベント 歓迎レセプションで「おおいた和牛」PR
9月7日~29日	住宅展示場「アルプわさだ」による肉フェアの開催
9月20日~10月20日	ラグビーワールドカップ2019公式ファンゾーンで「おおいた和牛」PR販売 [写真⑪]
9月25日~26日	全国家畜保健衛生業績発表会(東京都)
9月28日~10月23日	Enjoy Welcome Fairdeで「おおいた和牛」PR
10月~12月	大分駅及び大分空港でストリートビジョンによる「おおいた和牛」配信
10月	RWC関連施設の大分駅前仮設店舗「NOSIDEcafe&bar」にて「おおいた和牛」をPR
10月4日	大分県SGS広域流通推進協議会を設立
10月5日	大分県畜産共進会(肉牛の部)開催(豊後大野市:株大分県畜産公社) 後藤泉氏(豊後大野市)が農林水産省生産局長賞、北崎敏文氏(豊後高田市)が九州農政局長賞を受賞 [写真⑫]
10月10日	大分県畜産共進会(乳用牛の部)を開催(大分市:みどりの王国) 農林水産大臣賞に重見宝弘氏(玖珠町)、九州農政局長賞を馬場映介氏(九重町)が受賞
10月26日	大分県畜産共進会(肉用牛の部)開催(別府市:別府公園文化ゾーン) 安藤直樹氏(豊後大野市)が農林水産大臣賞、大塚洋和氏(由布市)が九州農政局長賞を受賞 [写真⑬]
10月26日~27日	大分県農林水産祭(農林業の部)開催(別府市:別府公園) [写真⑭]
10月26日~27日	第12回日本暖地畜産学会大分大会(大分市)を開催
10月30日	「食いだおれナイト」(シェラトン都ホテル大阪)で「おおいた和牛」をはじめ、県産食材のPR [写真⑮]

令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1~12月)

月 日	内 容
11月~12月	レストラン予約オンラインウェブサイト「るるぶモール」で、主要都市を対象とした「おおい た和牛」フェアの開催
11月~12月	シネアドでの「おおいた和牛」プロモーション動画放映
11月2日	第7回九州連合ホルスタイン共進会(宮崎県都城市)開催 玖珠町の重見宝弘氏がグランドチャンピオン獲得 [写真16]
11月2日~4日	秋のおおいた県産肉フェスタ(農業文化公園:杵築市)で「おおいた和牛」「米の恵み」PR
11月7日	大分県特定家畜伝染病防疫演習を実施(玖珠町) [写真17]
11月19日	第12回全国和牛能力共進会大分県推進協議会幹事会(全農大分県本部)
11月20日~1月19日	「米の恵み」とんどん書道コンクール 作品募集で金賞受賞者へ「米の恵み」プレゼント
11月20日~25日	大阪高島屋「イチオシ肉グルメフェア」(大阪なんば)にサポーターショップが出店 [写真18]
11月22日	福岡県のプレス関係者を対象とした「おおいた和牛」のPRバスツアー 「おおいた和牛」プレスツアー [写真19]
11月26日	九州地域肉用牛定休型ヘルパーサミット参画(熊本県) [写真20]
12月1日	おんせん県おおいた就農フェア(大阪府)
12月6日	令和元年度大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会
12月12日~16日	おおいた和牛Xmas フェスタ in 自由が丘(東京都)で「おおいた和牛」PR
12月20日	羽田空港第1ターミナルに「おおいた和牛」看板を設置PR [写真21]
12月23日	SGS 豚給与肥育試験報告・食味会 [写真22]

令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1~12月)



① 「おいしい和牛」× JR九州 新春列車 in 豊後大野市



② イオンパークプレイス大分 「肉の日」PR



③ OAB 番組「れじゃぐる」で「おいしい和牛」をPR



④ 「おいしい和牛」寿司 発表及び試食会



⑤ 「おいしい和牛」寿司



⑥ 「おいしい和牛」プロモーション会議

令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1~12月)



⑦ 第12回全国和牛能力共進会大分県推進協議会設立総会



⑧ おんせん県おおいた就農フェア(大分市)



⑨ 親子バスツアーの開催



⑩ るるぶキッチンプレス発表



⑪ RWC2019公式ファンゾーン「おおいた和牛」PR



⑫ 大分県畜産共進会(肉牛の部)

令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1~12月)



13 大分県畜産共進会 (肉用牛の部)



14 大分県農林水産祭 (農林業の部)



15 「食いだおれナイト」(県産食材のPR)



16 第7回九州連合ホルスタイン共進会 グランドチャンピオン



17 大分県特定家畜伝染病防疫演習



18 イチオン肉グルメフェア

令和元年(平成31年) 県内畜産関係の主な出来事(1~12月)



19 「おおいた和牛」 プレスツアー



20 九州地域肉用牛定体型ヘルパーサミット参画(熊本県)



21 「おおいた和牛」看板の設置



22 SGS 豚給与肥育試験報告・食味会

memo



第7回九州連合ホルスタイン共進会（宮崎県都城市）
グランドチャンピオン（提供：デーリィマン社）

- 大分の畜産2019
- 令和2年3月発行